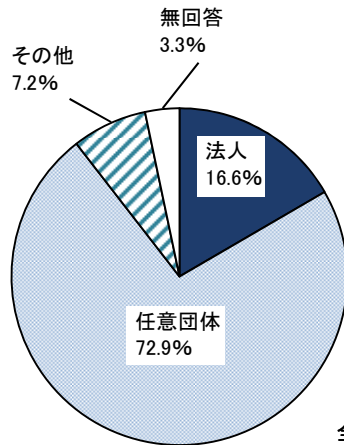


Ⅱ-2 市民活動団体意識調査

1. 団体の属性

(1) 団体種別

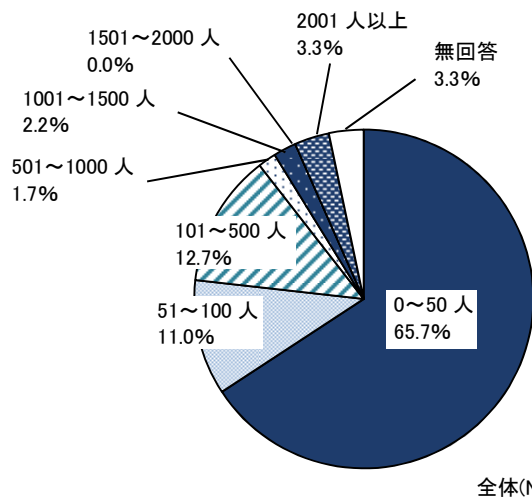
団体種別について、「任意団体」が72.9%と最も高い。ついで、「法人」(16.6%)、「その他」(7.2%)となっている。



	団体数	割合(%)
法人	30	16.6
任意団体	132	72.9
その他	13	7.2
無回答	6	3.3
合計	181	-

(2) 会員数

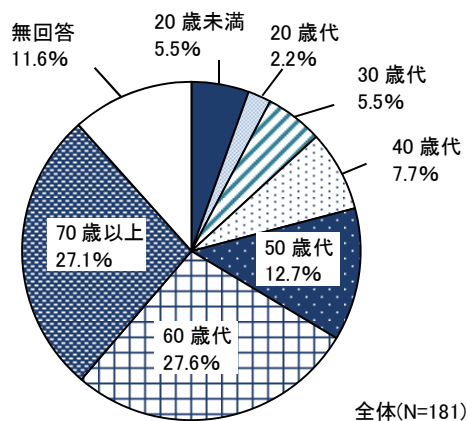
会員数について、「0～50人」が65.7%と最も高い。ついで、「101～500人」(12.7%)、「51～100人」(11.0%)となっている。



	団体数	割合(%)
0～50人	119	65.7
51～100人	20	11.0
101～500人	23	12.7
501～1000人	3	1.7
1001～1500人	4	2.2
1501～2000人	0	0.0
2001人以上	6	3.3
無回答	6	3.3
合計	181	-

(3) 主年齢層（最も人数が多い年齢層）

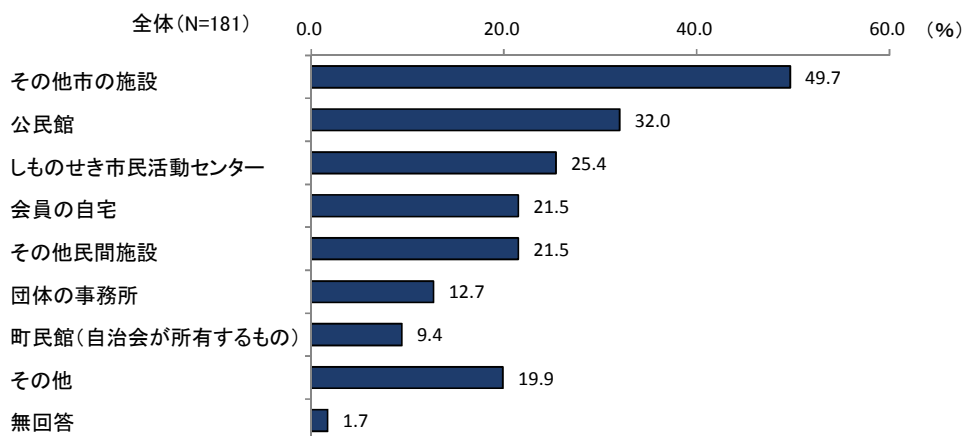
主年齢層（最も人数が多い年齢層）について、「60 歳代」が 27.6%と最も高い。ついで、「70 歳以上」(27.1%)、「50 歳代」(12.7%)となっている。



	団体数	割合(%)
20歳未満	10	5.5
20歳代	4	2.2
30歳代	10	5.5
40歳代	14	7.7
50歳代	23	12.7
60歳代	50	27.6
70歳以上	49	27.1
無回答	21	11.6
合計	181	-

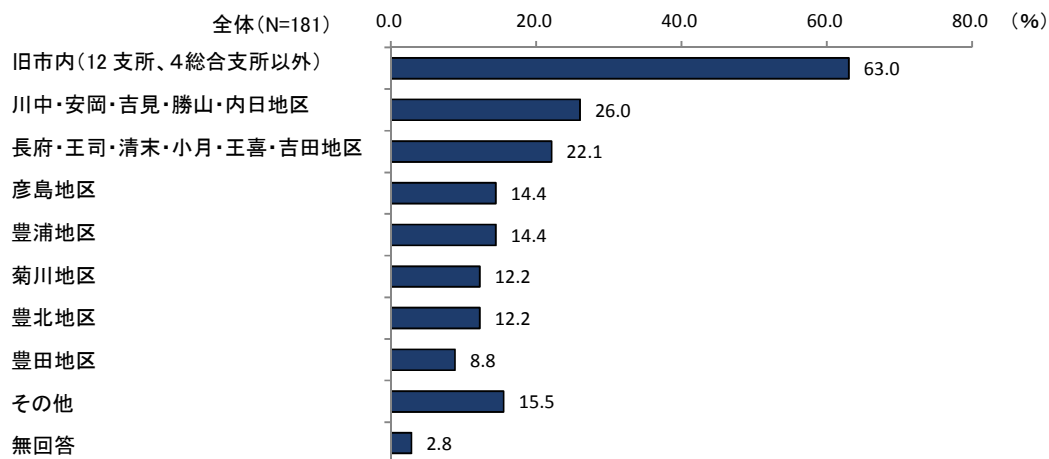
(4) 活動場所

活動場所について、「その他市の施設」が49.7%と最も高い。ついで、「公民館」(32.0%)、「しものせき市民活動センター」(25.4%)となっている。



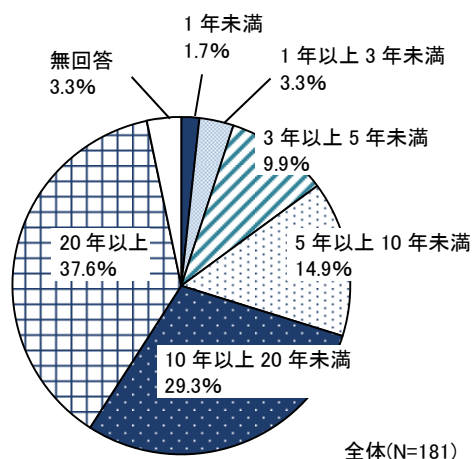
(5) 主な活動地域

主な活動地域について、「旧市内(12支所、4総合支所以外)」が63.0%と最も高い。ついで、「川中・安岡・吉見・勝山・内日地区」(26.0%)、「長府・王司・清末・小月・王喜・吉田地区」(22.1%)となっている。



(6) 団体の存続年数

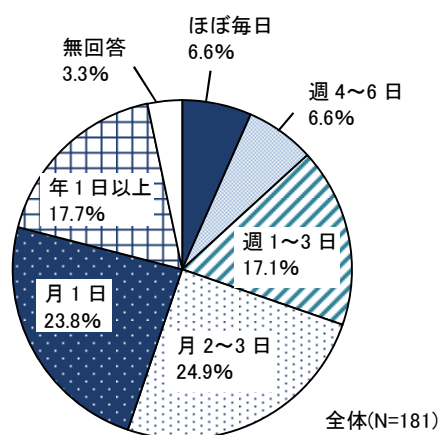
団体の存続年数について、「20年以上」が37.6%と最も高い。ついで、「10年以上20年未満」(29.3%)、「5年以上10年未満」(14.9%)となっている。



	団体数	割合 (%)
1年未満	3	1.7
1年以上3年未満	6	3.3
3年以上5年未満	18	9.9
5年以上10年未満	27	14.9
10年以上20年未満	53	29.3
20年以上	68	37.6
無回答	6	3.3
合計	181	-

(7) 活動日数

活動日数について、「月2～3日」が24.9%と最も高い。ついで、「月1日」(23.8%)、「年1日以上」(17.7%)となっている。



	団体数	割合(%)
ほぼ毎日	12	6.6
週4～6日	12	6.6
週1～3日	31	17.1
月2～3日	45	24.9
月1日	43	23.8
年1日以上	32	17.7
無回答	6	3.3
合計	181	-

2 団体の活動

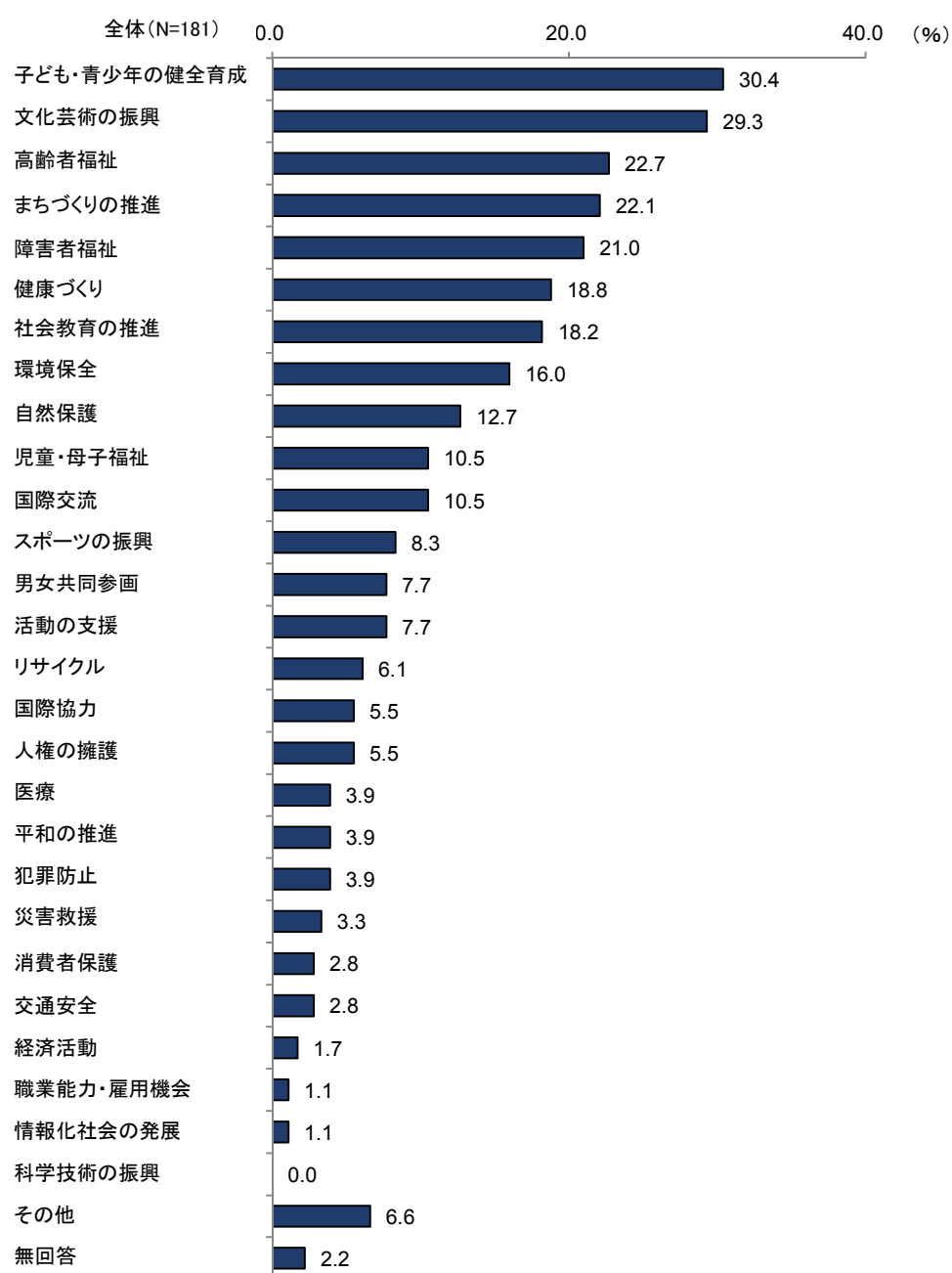
(1) 活動する分野

(問 2) あなたの団体では、どのような分野の活動を行っていますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。また、最も主要な活動を1つ選択し、その番号を回答欄に記入してください。

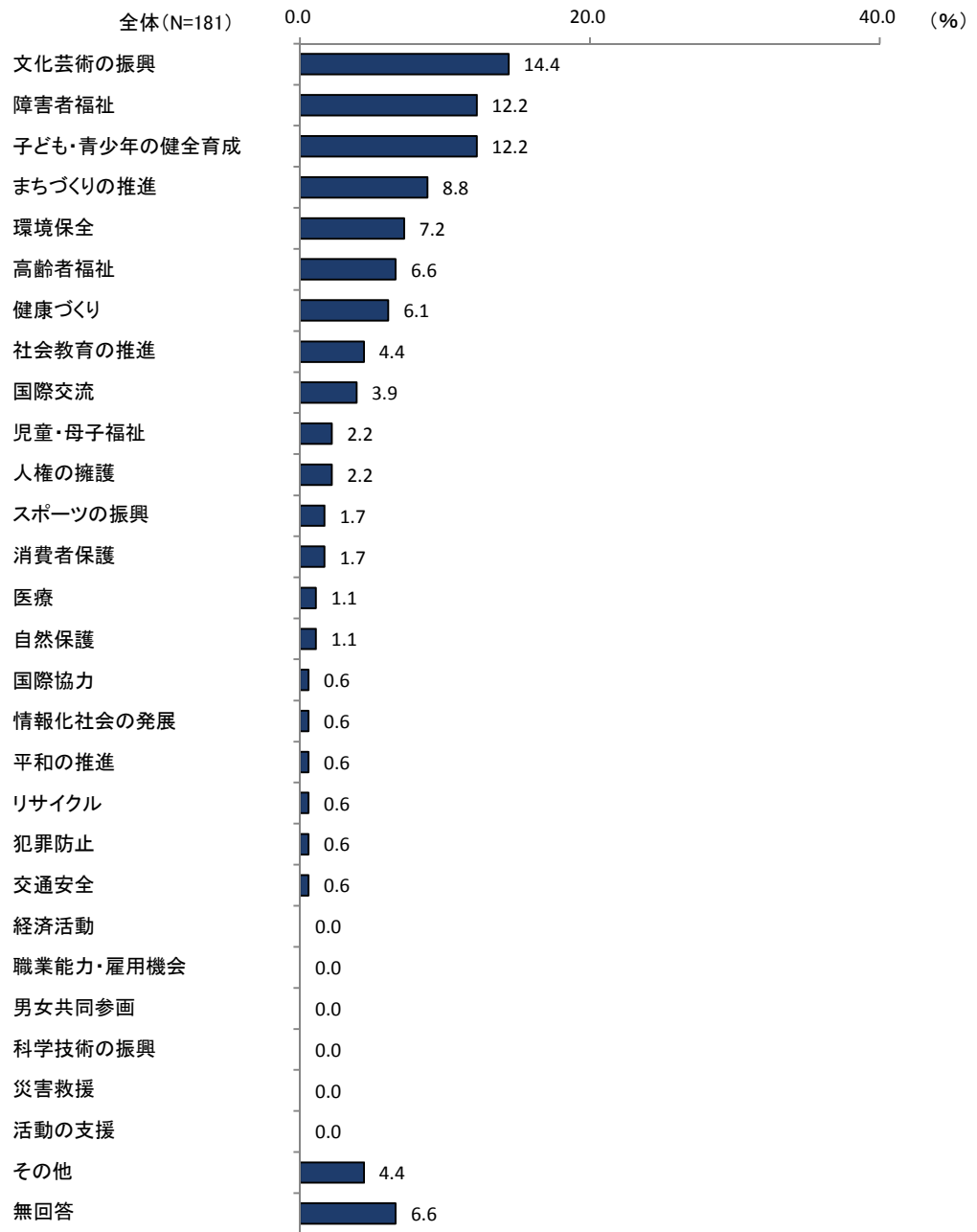
【あてはまるものすべてに○・数字を1つ記入】

活動する分野について、「子ども・青少年の健全育成」が 30.4%と最も高い。ついで、「文化芸術の振興」(29.3%)、「高齢者福祉」(22.7%)となっている。

最も主要な活動は、「文化芸術の振興」が 14.4%と最も高い。ついで、「障害者福祉」、「子ども・青少年の健全育成」(ともに 12.2%)となっている。



【最も主要な活動】



3 活動資金や経済状況

(1) 活動資金

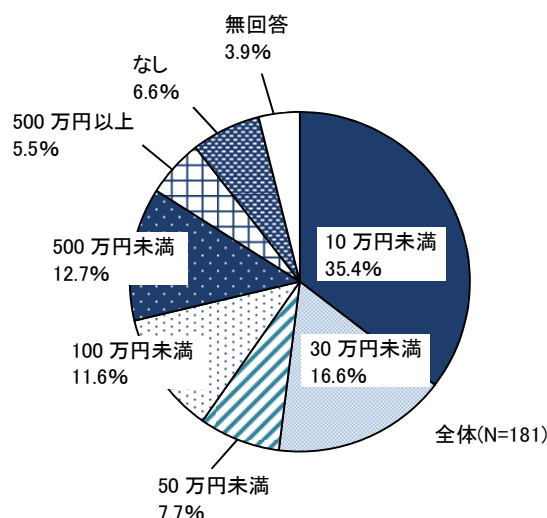
(問3) あなたの団体の平成25年(または平成25年度)の活動資金はどのくらいですか。

【あてはまるもの1つに○】

活動資金について、「10万円未満」が35.4%と最も高い。ついで、「30万円未満」(16.6%)、「500万円未満」(12.7%)となっている。

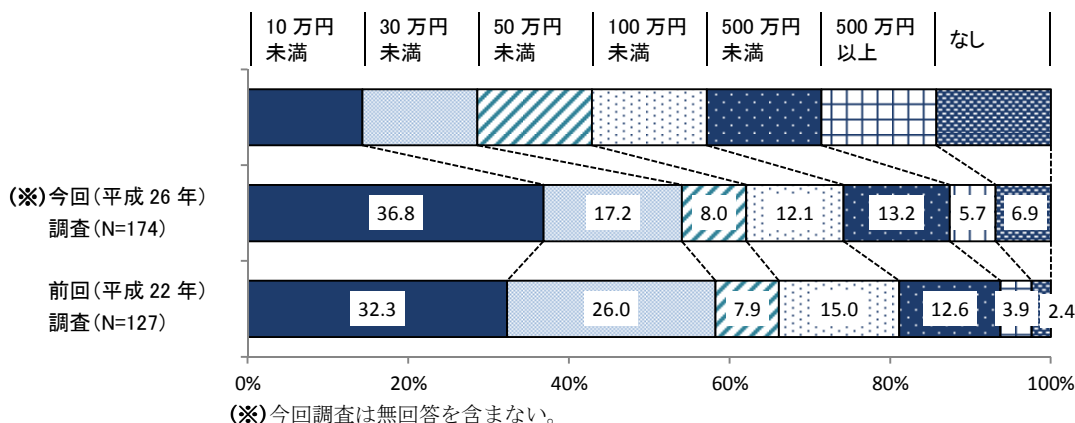
【経年比較】

『前回調査』で最も高かった「10万円未満」(32.3%)は『今回調査』(36.8%)では4.5ポイント増加している。



	団体数	割合 (%)
10万円未満	64	35.4
30万円未満	30	16.6
50万円未満	14	7.7
100万円未満	21	11.6
500万円未満	23	12.7
500万円以上	10	5.5
なし	12	6.6
無回答	7	3.9
合計	181	-

【経年比較】



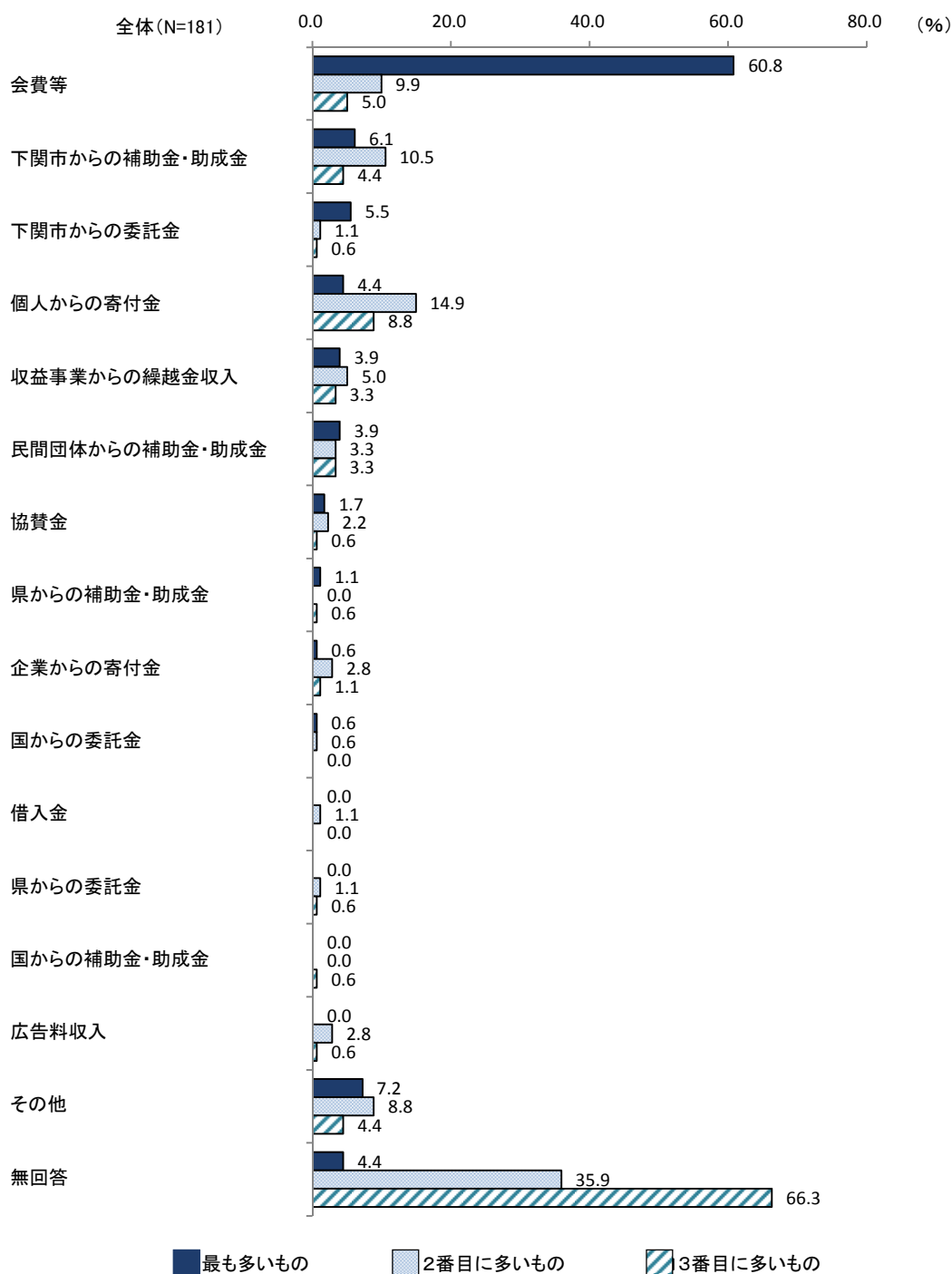
(2) 活動資金の収入の割合

(問4) あなたの団体の平成25年(または平成25年度)の収入の割合はどのようになっていますか。最も多いものから順に、あてはまるものを選び、その番号を回答欄に記入してください。【それぞれ数字を1つ記入】

活動資金の収入の割合について、最も多いものは、「会費等」が60.8%と最も高い。ついで、「下関市からの補助金・助成金」(6.1%)、「下関市からの委託金」(5.5%)となっている。

2番目に多いものは、「個人からの寄付金」が14.9%と最も高い。ついで、「下関市からの補助金・助成金」(10.5%)、「会費等」(9.9%)となっている。

3番目に多いものは、「個人からの寄付金」が8.8%と最も高い。ついで、「会費等」(5.0%)、「下関市からの補助金・助成金」(4.4%)となっている。



(3) 経済的負担

(問5) あなたの団体が活動していく中で経済的な負担になっていることは何ですか。

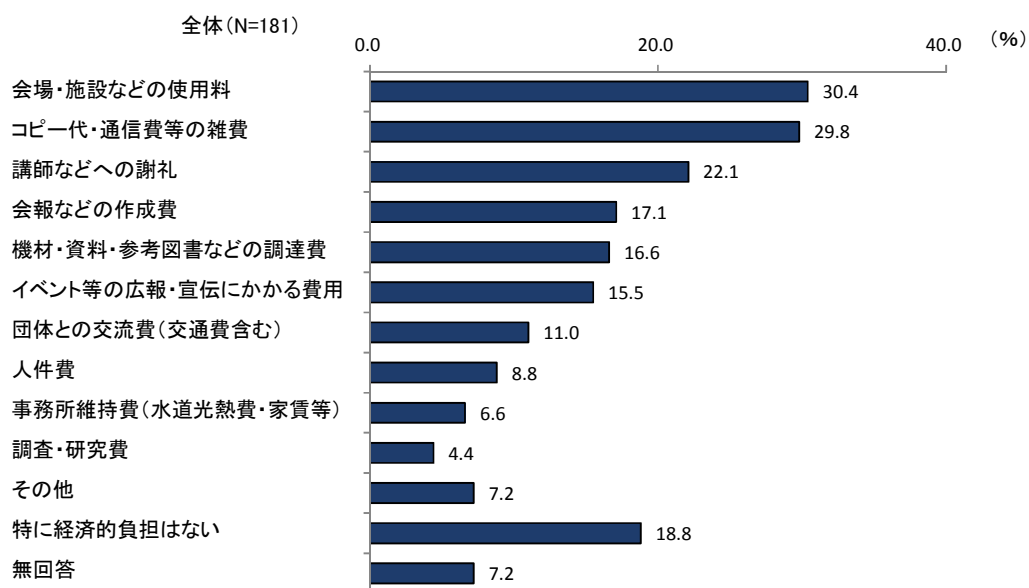
【あてはまるもの3つまでに○】

経済的負担について、「会場・施設などの使用料」が30.4%と最も高い。ついで、「コピー代・通信費等の雑費」(29.8%)、「講師などへの謝礼」(22.1%)となっている。

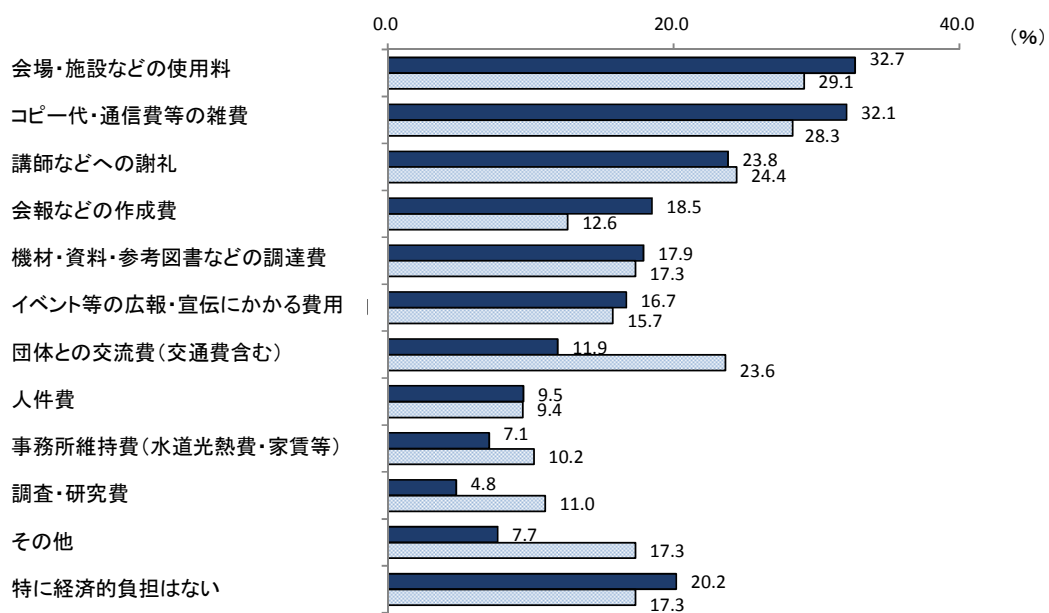
【経年比較】

『前回調査』で高かった「会場・施設などの使用料」(29.1%)は『今回調査』(32.7%)で3.6ポイント、「コピー代・通信費等の雑費」(28.3%)は『今回調査』(32.1%)で3.8ポイントそれぞれ増加している。

また、『前回調査』に比べて、「団体との交流費(交通費含む)」が11.7ポイント減少している。



【経年比較】



(※) ■ 今回(平成26年)調査(N=168) □ 前回(平成22年)調査(N=127)

(※) 今回調査は無回答を含まない。

経済的負担と団体の特徴との関連性 (P65 図 16 参照)

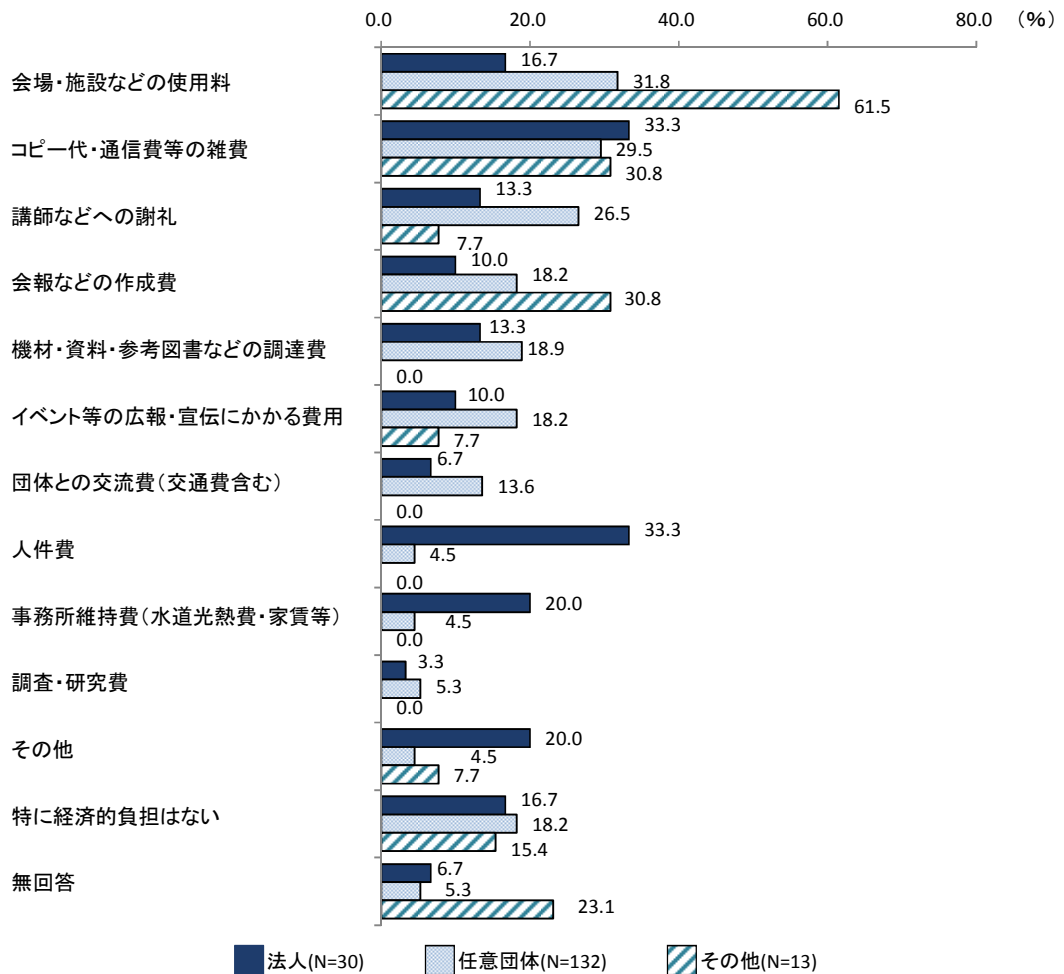
経済的負担と団体の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【団体種別】

『法人』は「コピー代・通信費等の雑費」と「人件費」がともに 33.3%と最も高く、『任意団体』は「会場・施設などの使用料」(31.8%)が最も高い。

経済的負担と団体種との関連性 (図 16)

【図 16 団体種別】



4 活動における課題等

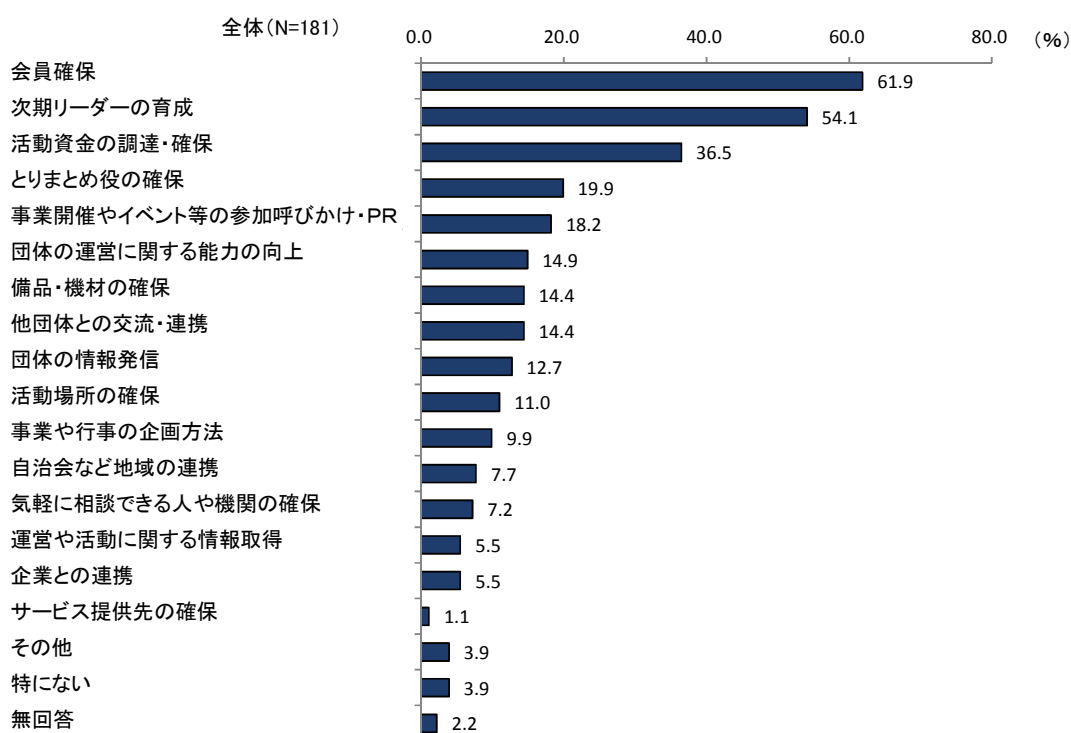
(1) 団体活動の課題

(問6) あなたの団体が活動していく上で、どのような課題がありますか。【あてはまるものすべてに○】

団体活動の課題について、「会員確保」が61.9%と最も高い。ついで、「次期リーダーの育成」(54.1%)、「活動資金の調達・確保」(36.5%)となっている。

【経年比較】

『前回調査』で高かった「高齢化・後継者不足」(33.3%)と「会員不足」(31.8%)は、『今回調査』においても同様に「次期リーダーの育成」(54.1%)、「会員確保」(61.9%)が高くなっており、人材面を課題としている団体が多い。



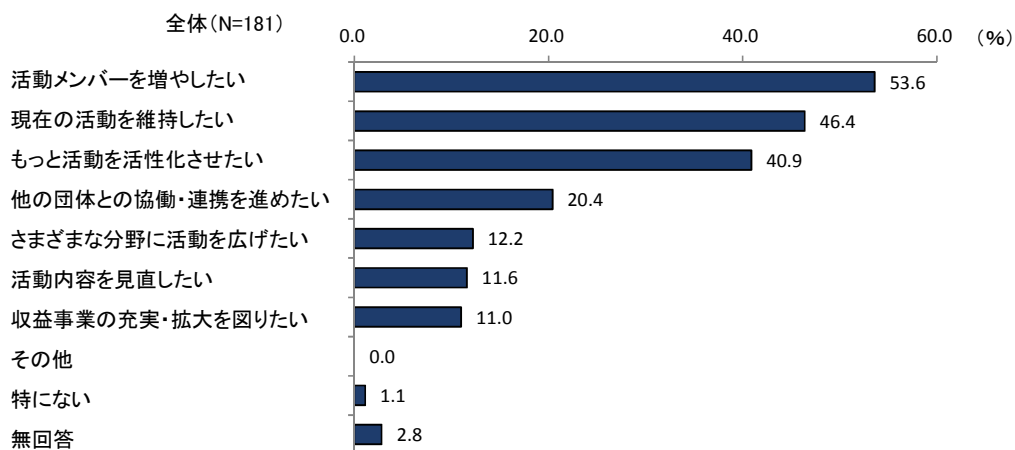
【経年比較 (上位5項目)】

順位	前回調査(平成22年)		今回調査			
	項目	%	項目	%		
1	■運営資金確保	46.5%	高齢化・後継者不足	33.3%	●会員確保	61.9%
2	社会的認知、支持低迷	23.8%	●会員不足	31.8%	次期リーダーの育成	54.1%
3	◆情報発信・PR困難	23.8%	新規会員減少・活動低迷	30.2%	■活動資金の調達・確保	36.5%
4	知識・技術習得困難	13.9%	中心会員固定・マンネリ	25.6%	とりまとめ役の確保	19.9%
5	特に課題なし	13.9%	会員多忙・活動低迷	24.8%	◆事業開催やイベント等の参加呼びかけ・PR	18.2%

(2) 今後の活動方針（運営面）

(問7) あなたの団体は、今後の活動についてどのように考えていますか。【あてはまるものすべてに○】

今後の活動方針（運営面）について、「活動メンバーを増やしたい」が 53.6%と最も高い。ついで、「現在の活動を維持したい」(46.4%)、「もっと活動を活性化させたい」(40.9%)となっている。



今後の活動方針（運営面）と団体の特徴との関連性（P68 表 13 参照）

今後の活動方針（運営面）と団体の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【団体種別】

『法人』は「もっと活動を活性化させたい」(63.3%)が最も高く、『任意団体』は「活動メンバーを増やしたい」(54.5%)が最も高い。

【団体規模（登録人数）別】

団体規模が大きくなるにつれて、「もっと活動を活性化させたい」が高くなっている。

【存続年数別】

他の団体と比べて、存続年数が『20年以上』の団体は「活動メンバーを増やしたい」(61.8%)が高くなっている。

今後の活動方針（運営面）と団体種別・団体規模（登録人数）・主な活動地域・活動資金・存続年数との関連性（表13）

【表13 団体種別・団体規模（登録人数）・主な活動地域・活動資金・存続年数別】

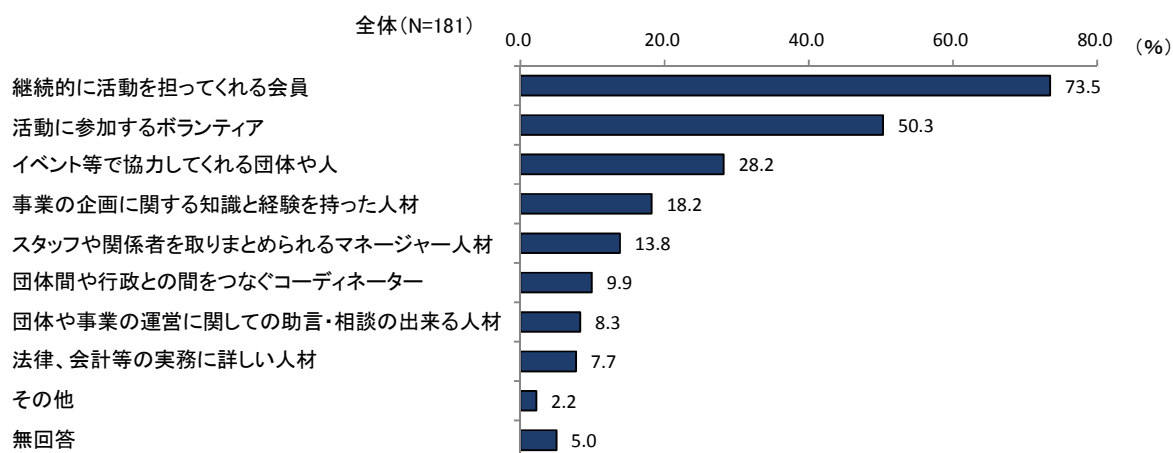
		全体	活動メンバーを増やしたい	現在の活動を維持したい	もっと活動を活性化させたい	他の団体との協働・連携を進めたい	さまざまな分野に活動を広げたい	活動内容を見直したい	収益事業の充実・拡大を図りたい	その他	特になし	無回答
全体		181 100.0%	97 53.6%	84 46.4%	74 40.9%	37 20.4%	22 12.2%	21 11.6%	20 11.0%	- -	2 1.1%	5 2.8%
団体種別	法人	30 100.0%	16 53.3%	9 30.0%	19 63.3%	12 40.0%	3 10.0%	4 13.3%	7 23.3%	- -	- -	1 3.3%
	任意団体	132 100.0%	72 54.5%	63 47.7%	52 39.4%	24 18.2%	17 12.9%	15 11.4%	12 9.1%	- -	2 1.5%	2 1.5%
	その他	13 100.0%	5 38.5%	8 61.5%	1 7.7%	- -	1 7.7%	1 7.7%	- -	- -	- -	- -
団体規模別 （登録人数）	10人以下	41 100.0%	20 48.8%	26 63.4%	10 24.4%	4 9.8%	5 12.2%	2 4.9%	1 2.4%	- -	1 2.4%	2 4.9%
	11～50人	78 100.0%	45 57.7%	33 42.3%	33 42.3%	17 21.8%	9 11.5%	5 6.4%	13 16.7%	- -	1 1.3%	2 2.6%
	51～1000人	46 100.0%	27 58.7%	18 39.1%	22 47.8%	15 32.6%	6 13.0%	10 21.7%	6 13.0%	- -	- -	1 2.2%
	1001人以上	10 100.0%	2 20.0%	6 60.0%	6 60.0%	1 10.0%	1 10.0%	2 20.0%	- -	- -	- -	- -
主な活動地域別	旧市内 (12支所、4総合支所以外)	114 100.0%	69 60.5%	43 37.7%	54 47.4%	24 21.1%	11 9.6%	16 14.0%	13 11.4%	- -	2 1.8%	3 2.6%
	彦島地区	26 100.0%	16 61.5%	9 34.6%	14 53.8%	5 19.2%	7 26.9%	4 15.4%	2 7.7%	- -	- -	- -
	川中・安岡・吉見・ 勝山・内日地区	47 100.0%	27 57.4%	24 51.1%	21 44.7%	9 19.1%	10 21.3%	6 12.8%	3 6.4%	- -	- -	- -
	長府・王司・清未・ 小月・王喜・吉田地区	40 100.0%	20 50.0%	15 37.5%	22 55.0%	10 25.0%	6 15.0%	7 17.5%	6 15.0%	- -	- -	1 2.5%
	菊川地区	22 100.0%	12 54.5%	8 36.4%	14 63.6%	5 22.7%	6 27.3%	5 22.7%	4 18.2%	- -	- -	- -
	豊田地区	16 100.0%	10 62.5%	6 37.5%	8 50.0%	4 25.0%	4 25.0%	3 18.8%	3 18.8%	- -	- -	- -
	豊浦地区	26 100.0%	12 46.2%	10 38.5%	12 46.2%	2 7.7%	6 23.1%	3 11.5%	4 15.4%	- -	- -	- -
	豊北地区	22 100.0%	12 54.5%	11 50.0%	9 40.9%	4 18.2%	3 13.6%	2 9.1%	2 9.1%	- -	- -	- -
	その他	28 100.0%	19 67.9%	9 32.1%	15 53.6%	8 28.6%	5 17.9%	1 3.6%	5 17.9%	- -	1 3.6%	1 3.6%
	活動資金別	なし	12 100.0%	5 41.7%	7 58.3%	2 16.7%	2 16.7%	1 8.3%	1 8.3%	- -	- -	1 8.3%
10万円未満		64 100.0%	30 46.9%	31 48.4%	25 39.1%	9 14.1%	8 12.5%	6 9.4%	4 6.3%	- -	1 1.6%	- -
30万円未満		30 100.0%	19 63.3%	21 70.0%	8 26.7%	7 23.3%	4 13.3%	3 10.0%	4 13.3%	- -	- -	- -
50万円未満		14 100.0%	11 78.6%	4 28.6%	7 50.0%	7 50.0%	1 7.1%	2 14.3%	2 14.3%	- -	- -	- -
100万円未満		21 100.0%	12 57.1%	12 57.1%	12 57.1%	3 14.3%	1 4.8%	5 23.8%	2 9.5%	- -	- -	- -
500万円未満		23 100.0%	11 47.8%	7 30.4%	14 60.9%	3 13.0%	4 17.4%	3 13.0%	4 17.4%	- -	- -	- -
500万円以上		10 100.0%	7 70.0%	1 10.0%	5 50.0%	5 50.0%	2 20.0%	1 10.0%	4 40.0%	- -	- -	1 10.0%
存続年数別		1年未満（※）	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%	2 66.7%	- -	- -	1 33.3%	- -	- -
1年以上3年未満（※）	6 100.0%	3 50.0%	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	- -	- -	1 16.7%	- -	- -	- -	
3年以上5年未満	18 100.0%	7 38.9%	5 27.8%	9 50.0%	1 5.6%	3 16.7%	3 16.7%	4 22.2%	- -	1 5.6%	- -	
5年以上10年未満	27 100.0%	13 48.1%	14 51.9%	8 29.6%	6 22.2%	3 11.1%	3 11.1%	5 18.5%	- -	- -	1 3.7%	
10年以上20年未満	53 100.0%	31 58.5%	25 47.2%	17 32.1%	12 22.6%	8 15.1%	7 13.2%	5 9.4%	- -	- -	3 5.7%	
20年以上	68 100.0%	42 61.8%	33 48.5%	32 47.1%	15 22.1%	7 10.3%	7 10.3%	4 5.9%	- -	1 1.5%	1 1.5%	

（※）サンプル数が少ない「1年未満」と「1年以上3年未満」については参考として掲載している。

(3) 今後の活動方針（人材面）

（問 8）あなたの団体では、どのような人材を必要としていますか。【あてはまるものすべてに○】

今後の活動方針（人材面）について、「継続的に活動を担ってくれる会員」が73.5%と最も高い。ついで、「活動に参加するボランティア」（50.3%）、「イベント等で協力してくれる団体や人」（28.2%）となっている。



今後の活動方針（人材面）と団体の特徴との関連性（P70 表 14 参照）

今後の活動方針（人材面）と団体の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【団体種別】

団体種別にかかわらず、「継続的に活動を担ってくれる会員」が最も高い。

また、『法人』は、『任意団体』に比べて、「法律、会計等の実務に詳しい人材」が18.8ポイント多くなっている。

【団体規模（登録人数）別】

団体規模（登録人数）にかかわらず、「継続的に活動を担ってくれる会員」が最も高い。

【主な活動地域別】

主な活動地域にかかわらず、「継続的に活動を担ってくれる会員」が最も高い。

【活動資金別】

活動資金が『500万円以上』の団体は、「継続的に活動を担ってくれる会員」、「活動に参加するボランティア」（ともに70.0%）が最も高く、その他の団体は「継続的に活動を担ってくれる会員」が最も高い。

【存続年数別】

存続年数にかかわらず、「継続的に活動を担ってくれる会員」が最も高い。

今後の活動方針（人材面）と団体種別・団体規模（登録人数）・主な活動地域・活動資金・存続年数との関連性（表14）

【表14 団体種別・団体規模（登録人数）・主な活動地域・活動資金・存続年数別】

	全体	継続的に活動を担ってくれる会員	活動に参加するボランティア	イベント等で協力してくれる団体や人	事業の企画に関する知識と経験を持った人材	スタッフや関係者をとりまとめられるマネージャー人材	団体間や行政との間をつなぐコーディネーター	団体や事業の運営に関しての助言・相談の出来る人材	法律、会計等の実務に詳しい人材	その他	無回答	
全体	181 100.0%	133 73.5%	91 50.3%	51 28.2%	33 18.2%	25 13.8%	18 9.9%	15 8.3%	14 7.7%	4 2.2%	9 5.0%	
団体種別	法人	30 100.0%	22 73.3%	17 56.7%	9 30.0%	9 30.0%	5 16.7%	4 13.3%	5 16.7%	7 23.3%	2 6.7%	1 3.3%
	任意団体	132 100.0%	100 75.8%	66 50.0%	39 29.5%	22 16.7%	18 13.6%	13 9.8%	9 6.8%	6 4.5%	1 .0%	5 3.8%
	その他	13 100.0%	8 61.5%	3 23.1%	2 15.4%	2 15.4%	2 15.4%	1 7.7%	1 7.7%	-	-	3 23.1%
団体規模別 (登録人数)	10人以下	41 100.0%	27 65.9%	16 39.0%	12 29.3%	2 4.9%	-	2 4.9%	1 2.4%	-	1 2.4%	6 14.6%
	11～50人	78 100.0%	56 71.8%	38 48.7%	22 28.2%	18 23.1%	13 16.7%	8 10.3%	3 3.8%	8 10.3%	2 2.6%	1 1.3%
	51～1000人	46 100.0%	41 89.1%	28 60.9%	11 23.9%	9 19.6%	9 19.6%	8 17.4%	10 21.7%	6 13.0%	-	1 2.2%
	1001人以上	10 100.0%	7 70.0%	6 60.0%	4 40.0%	2 20.0%	2 20.0%	-	1 10.0%	-	-	-
主な活動地域別	旧市内 (12支所、4総合支所以外)	114 100.0%	88 77.2%	49 43.0%	31 27.2%	23 20.2%	19 16.7%	13 11.4%	10 8.8%	10 8.8%	2 1.8%	6 5.3%
	彦島地区	26 100.0%	19 73.1%	12 46.2%	7 26.9%	5 19.2%	5 19.2%	5 19.2%	3 11.5%	3 11.5%	1 3.8%	1 3.8%
	川中・安岡・吉見・ 勝山・内日地区	47 100.0%	37 78.7%	29 61.7%	16 34.0%	12 25.5%	9 19.1%	7 14.9%	5 10.6%	4 8.5%	-	1 2.1%
	長府・王司・清末・ 小月・王喜・吉田地区	40 100.0%	29 72.5%	17 42.5%	6 15.0%	13 32.5%	11 27.5%	6 15.0%	7 17.5%	5 12.5%	2 5.0%	4 10.0%
	菊川地区	22 100.0%	16 72.7%	11 50.0%	5 22.7%	8 36.4%	9 40.9%	3 13.6%	5 22.7%	4 18.2%	1 4.5%	1 4.5%
	豊田地区	16 100.0%	13 81.3%	11 68.8%	8 50.0%	4 25.0%	5 31.3%	2 12.5%	2 12.5%	2 12.5%	-	-
	豊浦地区	26 100.0%	19 73.1%	11 42.3%	5 19.2%	6 23.1%	5 19.2%	2 7.7%	4 15.4%	2 7.7%	-	1 3.8%
	豊北地区	22 100.0%	15 68.2%	14 63.6%	9 40.9%	4 18.2%	5 22.7%	3 13.6%	3 13.6%	3 13.6%	-	-
	その他	28 100.0%	20 71.4%	15 53.6%	10 35.7%	4 14.3%	5 17.9%	4 14.3%	3 10.7%	6 21.4%	1 3.6%	1 3.6%
	活動資金別	なし	12 100.0%	9 75.0%	5 41.7%	2 16.7%	1 8.3%	-	1 8.3%	-	-	-
10万円未満		64 100.0%	43 67.2%	33 51.6%	18 28.1%	6 9.4%	4 6.3%	3 4.7%	3 4.7%	3 4.7%	1 1.6%	2 3.1%
30万円未満		30 100.0%	21 70.0%	15 50.0%	10 33.3%	10 33.3%	5 16.7%	4 13.3%	4 13.3%	1 3.3%	2 6.7%	1 3.3%
50万円未満		14 100.0%	13 92.9%	9 64.3%	5 35.7%	3 21.4%	3 21.4%	2 14.3%	-	1 7.1%	-	-
100万円未満		21 100.0%	18 85.7%	9 42.9%	5 23.8%	4 19.0%	1 4.8%	2 9.5%	2 9.5%	2 9.5%	-	-
500万円未満		23 100.0%	18 78.3%	12 52.2%	8 34.8%	3 13.0%	8 34.8%	3 13.0%	5 21.7%	4 17.4%	1 4.3%	-
500万円以上		10 100.0%	7 70.0%	7 70.0%	2 20.0%	5 50.0%	3 30.0%	2 20.0%	-	3 30.0%	-	-
存続年数別		3 100.0%	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	-
1年未満(※)	6 100.0%	6 100.0%	3 50.0%	1 16.7%	-	-	-	1 16.7%	1 16.7%	-	-	
1年以上3年未満(※)	18 100.0%	15 83.3%	9 50.0%	6 33.3%	3 16.7%	2 11.1%	-	1 5.6%	1 5.6%	-	-	
3年以上5年未満	27 100.0%	20 74.1%	10 37.0%	10 37.0%	4 14.8%	3 11.1%	3 11.1%	2 7.4%	3 11.1%	-	1 3.7%	
5年以上10年未満	53 100.0%	31 58.5%	29 54.7%	13 24.5%	10 18.9%	8 15.1%	7 13.2%	2 3.8%	5 9.4%	2 3.8%	6 11.3%	
10年以上20年未満	68 100.0%	55 80.9%	33 48.5%	18 26.5%	14 20.6%	11 16.2%	7 10.3%	8 11.8%	2 2.9%	-	2 2.9%	

(※) サンプル数が少ない「1年未満」と「1年以上3年未満」については参考として掲載している。

5 情報の入手と提供

(1) 情報入手の方法

(問9) あなたの団体は、活動に必要な情報をどのような形で入手し、発信・提供していますか。

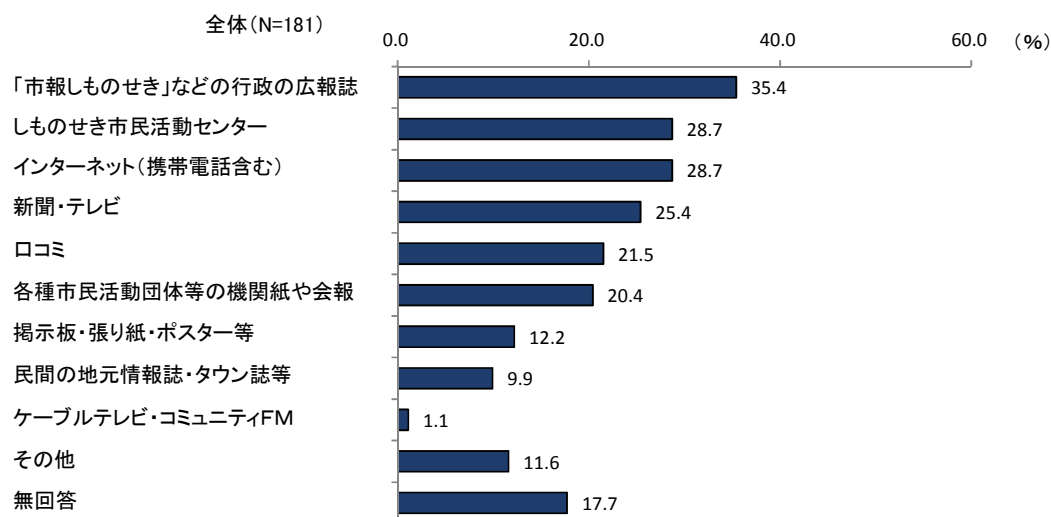
【それぞれあてはまるもの3つまでに○】

情報入手の方法について、「市報しものせき」などの行政の広報誌が35.4%と最も高い。ついで、「しものせき市民活動センター」(28.7%)、「インターネット(携帯電話含む)」(28.7%)となっている。

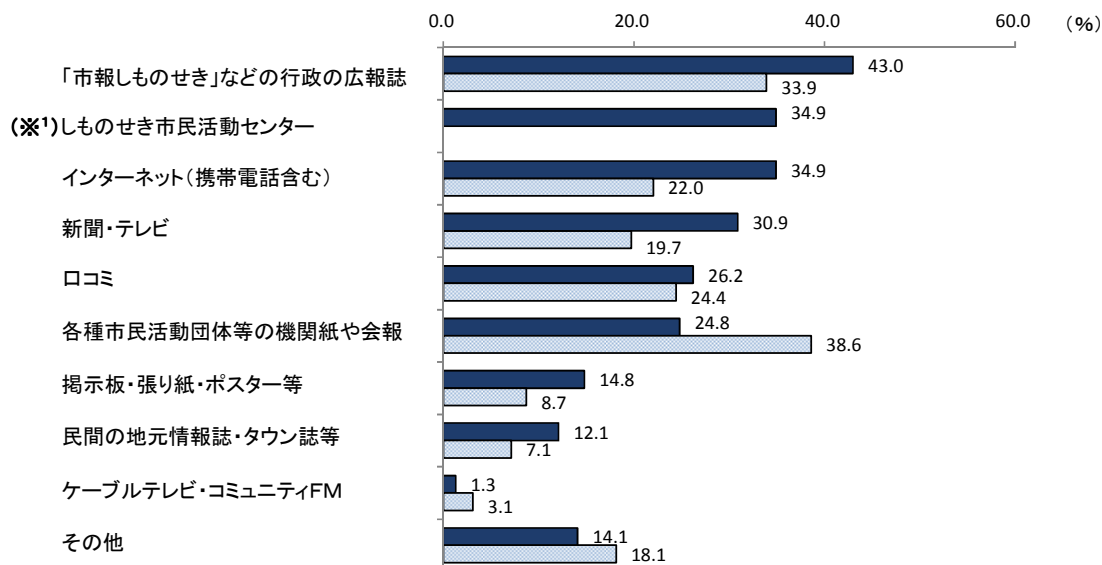
【経年比較】

『今回調査』は、『前回調査』に比べて、「インターネット(携帯電話含む)」と「新聞・テレビ」がそれぞれ(12.9ポイント、11.2ポイント)増加している。

『前回調査』で最も高かった「各種市民活動団体等の機関紙や会報」(38.6%)は、『今回調査』(24.8%)では13.8ポイント減少している。



【経年比較】



(※²) ■ 今回(平成26年)調査(N=149) □ 前回(平成22年)調査(N=127)

(※¹)は、前回調査に無い項目

(※²)今回調査は無回答を含まない。

(2) 情報提供の方法

(問9) あなたの団体は、活動に必要な情報をどのような形で入手し、発信・提供していますか。

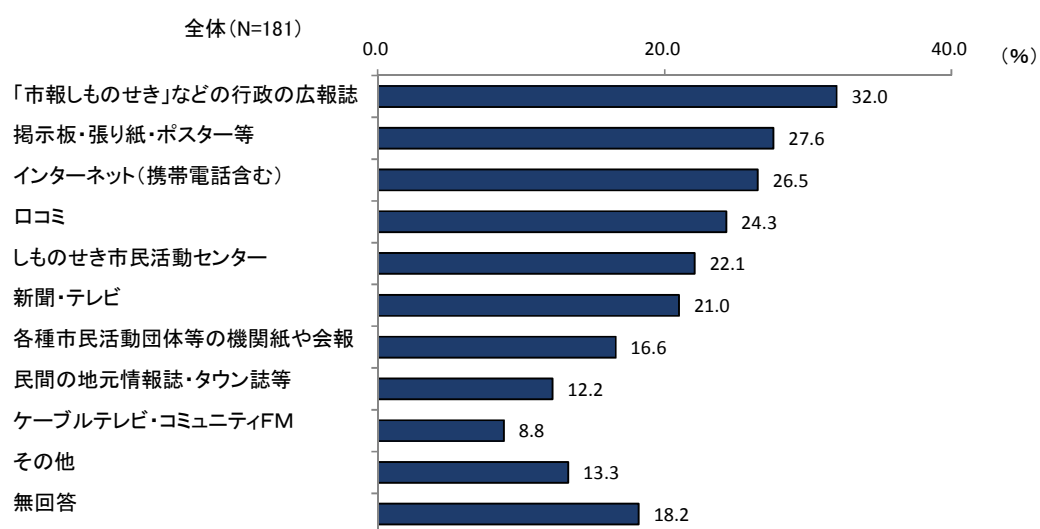
【それぞれあてはまるもの3つまでに○】

情報提供の方法について、「市報しものせき」などの行政の広報誌が 32.0%と最も高い。ついで、「掲示板・張り紙・ポスター等」(27.6%)、「インターネット(携帯電話含む)」(26.5%)となっている。

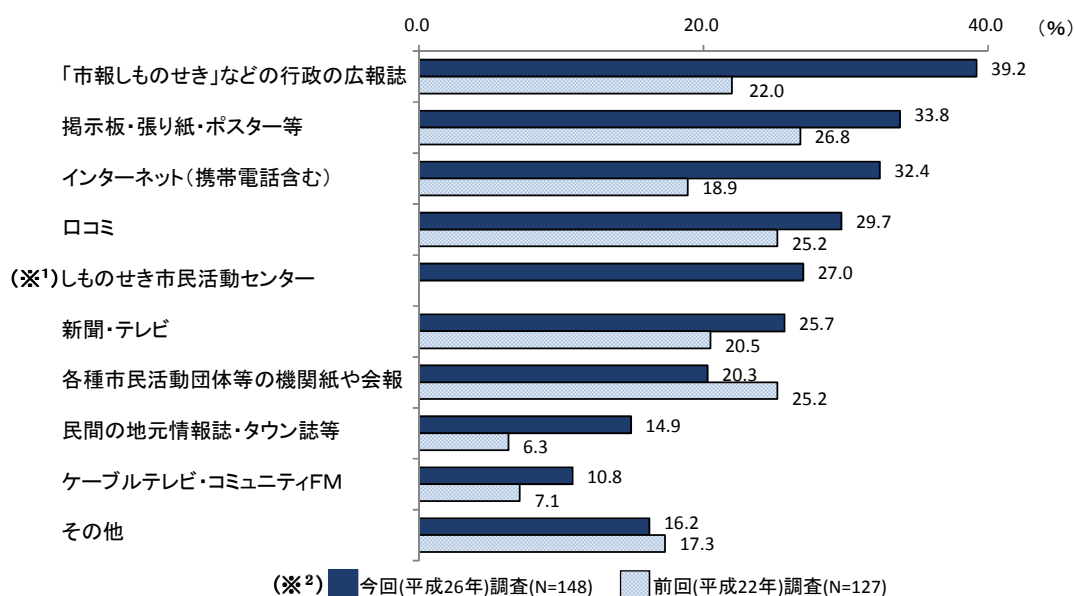
【経年比較】

『今回調査』は、『前回調査』に比べて、「市報しものせき」などの行政の広報誌(39.2%)が 17.2 ポイント、「インターネット(携帯電話含む)」(32.4%)が 13.5 ポイント増加している。

『前回調査』で最も高かった「掲示板・張り紙・ポスター等」(26.8%)は『今回調査』では 7.0 ポイント増加している。



【経年比較】



(※²) ■ 今回(平成26年)調査(N=148) □ 前回(平成22年)調査(N=127)

(※¹)は、前回調査に無い項目

(※²)今回調査は無回答を含まない。

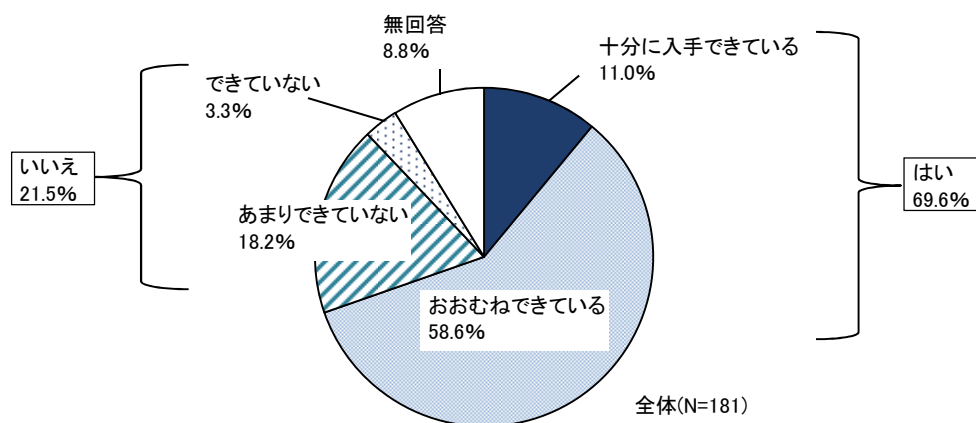
(3) 情報入手の満足度

(問 10) あなたの団体に必要な情報を、十分に入手することができますか。【あてはまるもの1つに○】

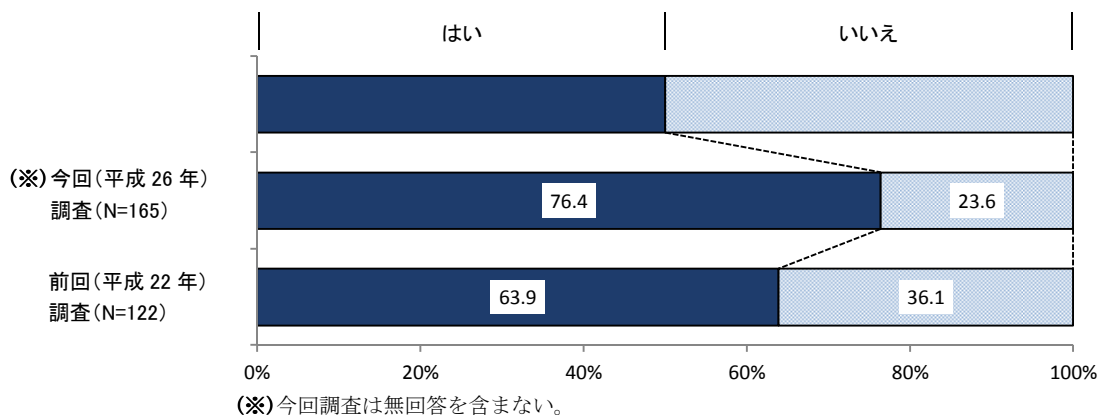
情報入手の満足度について、「おおむねできている」が 58.6%と最も高い。ついで、「あまりできていない」(18.2%)、「十分に入手できている」(11.0%)となっている。

【経年比較】

『前回調査』で最も高かった「はい」(63.9%)は『今回調査』(76.4%)では 12.5 ポイント増加している。



【経年比較】



情報入手の満足度と団体の特徴との関連性 (P74 図 17・18、P75 図 19 参照)

情報入手の満足度と団体の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【団体種別】

団体種別にかかわらず、「おおむねできている」が最も高い。

【主な活動地域別】

主な活動地域にかかわらず、「おおむねできている」が最も高い。

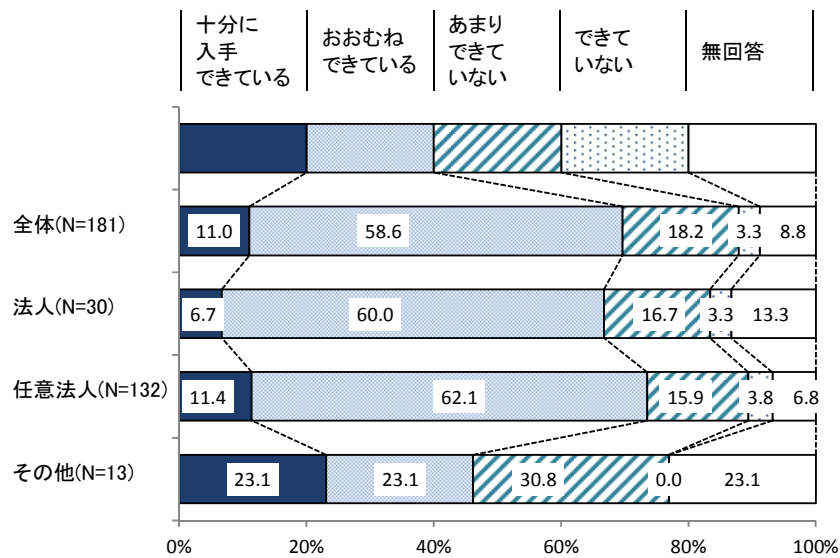
他の活動地域と比べて、『豊田地区』(37.5%)は「十分に入手できている」が高くなっている。

【存続年数別】

存続年数にかかわらず、「おおむねできている」が最も高い。

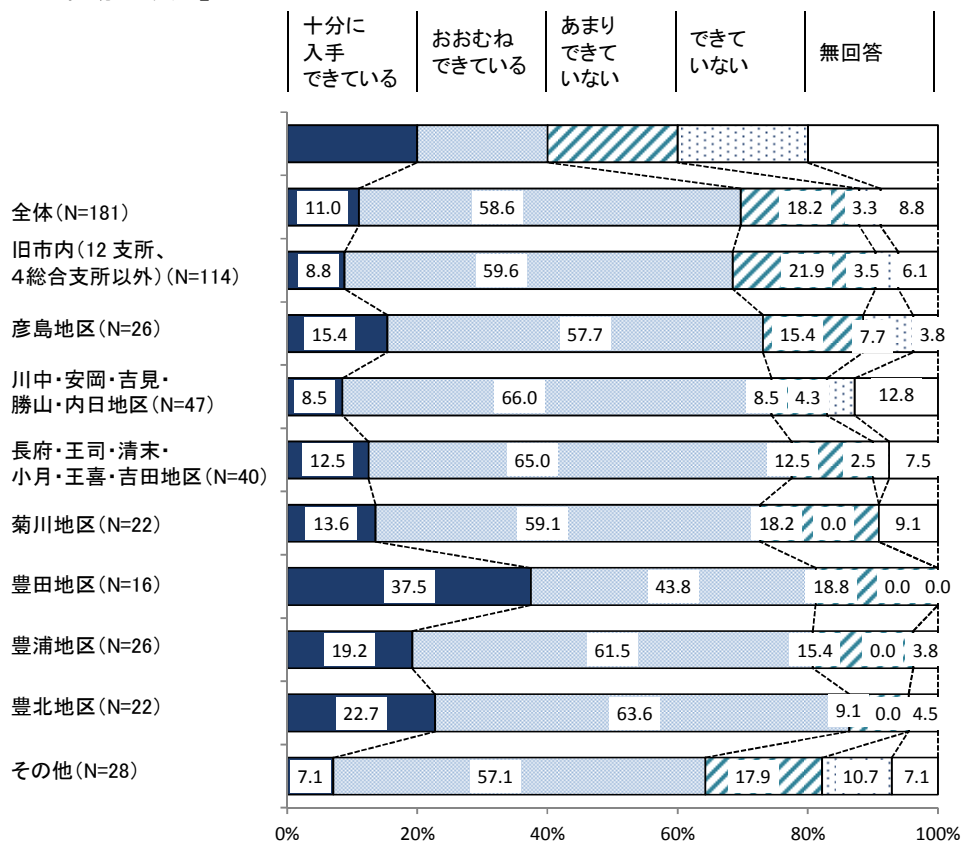
情報入手の満足度と団体種別との関連性 (図 17)

【図 17 団体種別】



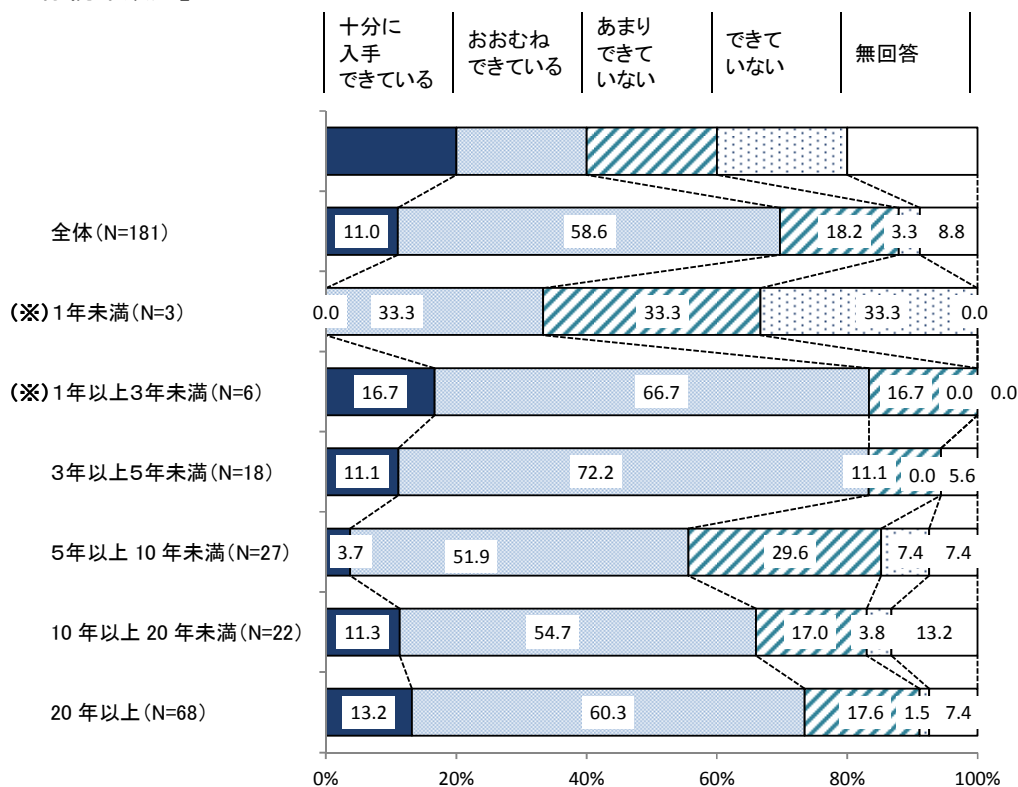
情報入手の満足度と主な活動地域との関連性 (図 18)

【図 18 主な活動地域別】



情報入手の満足度と存続年数との関連性 (図 19)

【図 19 存続年数別】

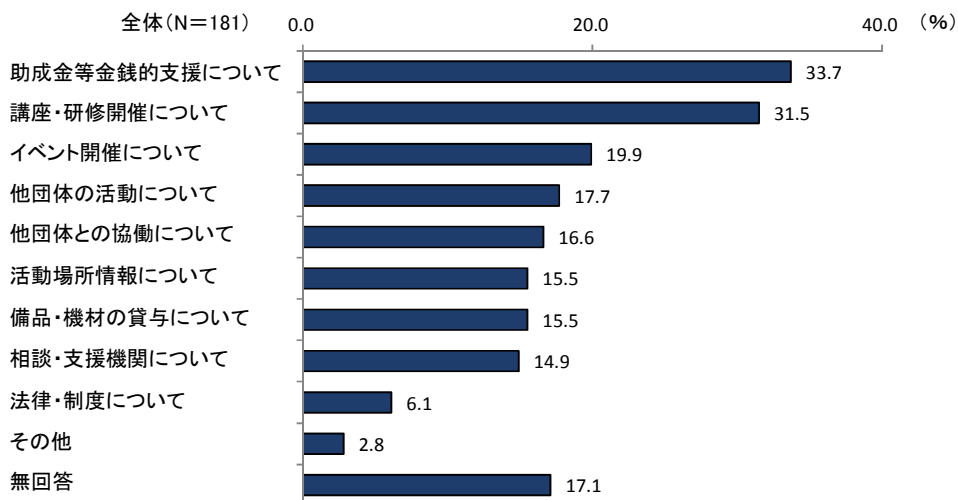


(※) サンプル数が少ない「1年未満」と「1年以上3年未満」については参考として掲載している。

(4) 必要な情報

(問 11) あなたの団体の活動のために、さらにどのような情報が必要ですか。【あてはまるものすべてに○】

必要な情報について、「助成金等金銭的支援について」が 33.7%と最も高い。ついで、「講座・研修開催について」(31.5%)、「イベント開催について」(19.9%)となっている。



必要な情報と団体の特徴との関連性 (P76 表 15 参照)

必要な情報と団体の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【存続年数別】

他の団体と比べて、存続年数が『20年以上』の団体は、「講座・研修開催について」(42.6%)が高くなっている。

必要な情報と存続年数との関連性 (表 15)

【表 15 存続年数別】

		全体	助成金等 金銭的 支援に ついて	講座・ 研修開催 について	イベント 開催に ついて	他団体の 活動に ついて	他団体と の協働に ついて	活動場所 情報に ついて	備品・ 機材の 貸与に ついて	相談・ 支援機関 について	法律・ 制度に ついて	その他	無回答
全体		181 100.0%	61 33.7%	57 31.5%	36 19.9%	32 17.7%	30 16.6%	28 15.5%	28 15.5%	27 14.9%	11 6.1%	5 2.8%	31 17.1%
存続年数別	1年未満 (※)	3 100.0%	3 100.0%	2 66.7%	-	1 33.3%	1 33.3%	-	1 33.3%	1 33.3%	-	1 33.3%	-
	1年以上3年未満 (※)	6 100.0%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	-	1 16.7%	-	3 50.0%	-	-	-
	3年以上5年未満	18 100.0%	6 33.3%	3 16.7%	3 16.7%	1 5.6%	3 16.7%	5 27.8%	5 27.8%	1 5.6%	-	1 5.6%	1 5.6%
	5年以上10年未満	27 100.0%	9 33.3%	4 14.8%	7 25.9%	6 22.2%	2 7.4%	3 11.1%	5 18.5%	4 14.8%	2 7.4%	2 7.4%	6 22.2%
	10年以上20年未満	53 100.0%	16 30.2%	16 30.2%	12 22.6%	7 13.2%	11 20.8%	7 13.2%	7 13.2%	7 13.2%	6 11.3%	-	14 26.4%
	20年以上	68 100.0%	21 30.9%	29 42.6%	13 19.1%	15 22.1%	13 19.1%	11 16.2%	8 11.8%	11 16.2%	3 4.4%	1 1.5%	8 11.8%

(※) サンプル数が少ない「1年未満」と「1年以上3年未満」については参考として掲載している。

(5) 情報発信・情報提供の満足度

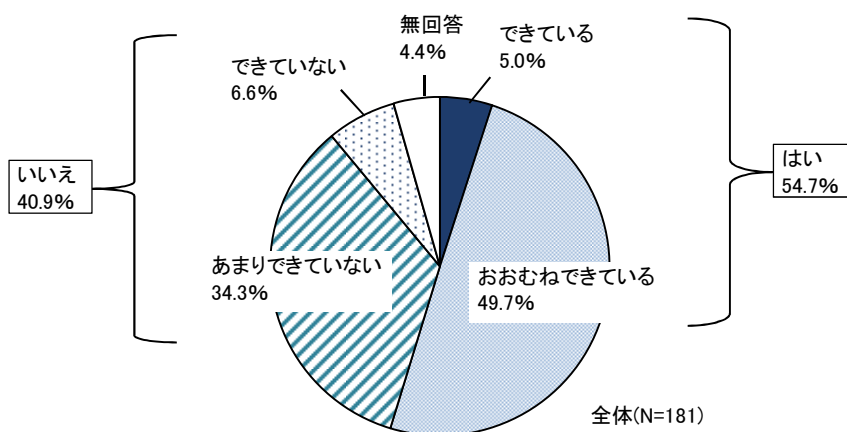
(問 12) あなたの団体は、活動の内容等の情報を十分に発信・提供できていますか。

【あてはまるもの1つに○】

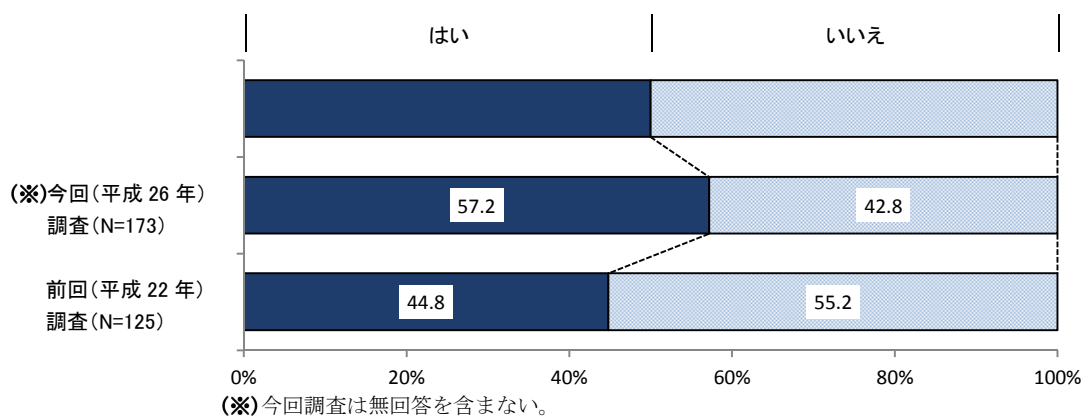
情報発信・情報提供の満足度について、「おおむねできている」が 49.7%と最も高い。ついで、「あまりできていない」(34.3%)、「できていない」(6.6%)となっている。

【経年比較】

『前回調査』で最も高かった「いいえ」(55.2%)は『今回調査』(42.8%)では 12.4 ポイント減少している。



【経年比較】



情報発信・情報提供の満足度と団体の特徴との関連性

(P78 図 20、P79 図 21・22 参照)

情報発信・情報提供の満足度と団体の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【団体種別】

団体種別にかかわらず、「おおむねできている」が最も高い。

また、『法人』は、『任意団体』に比べて、「おおむねできている」が 19.7 ポイント多くなっている。

【主な活動地域別】

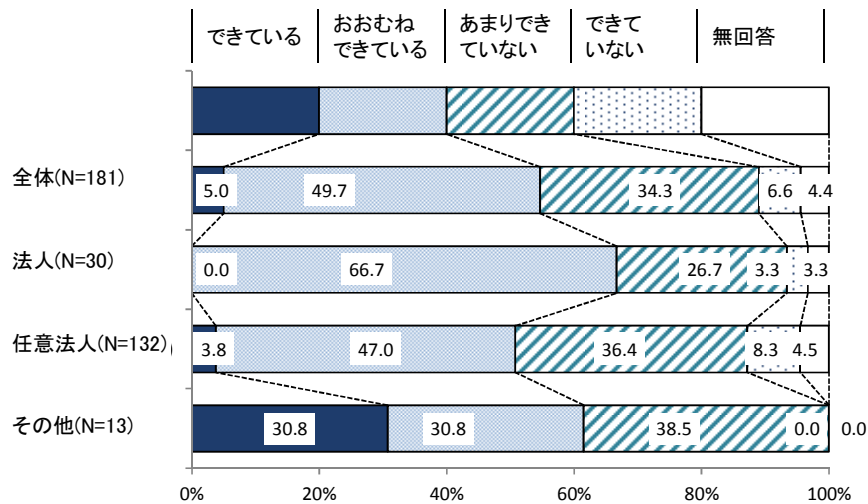
主な活動地域にかかわらず、「おおむねできている」が最も高い。

【存続年数別】

『5 年以上 10 年未満』から『20 年以上』にかけて存続年数が増えるにつれて「おおむねできている」が高くなっている。

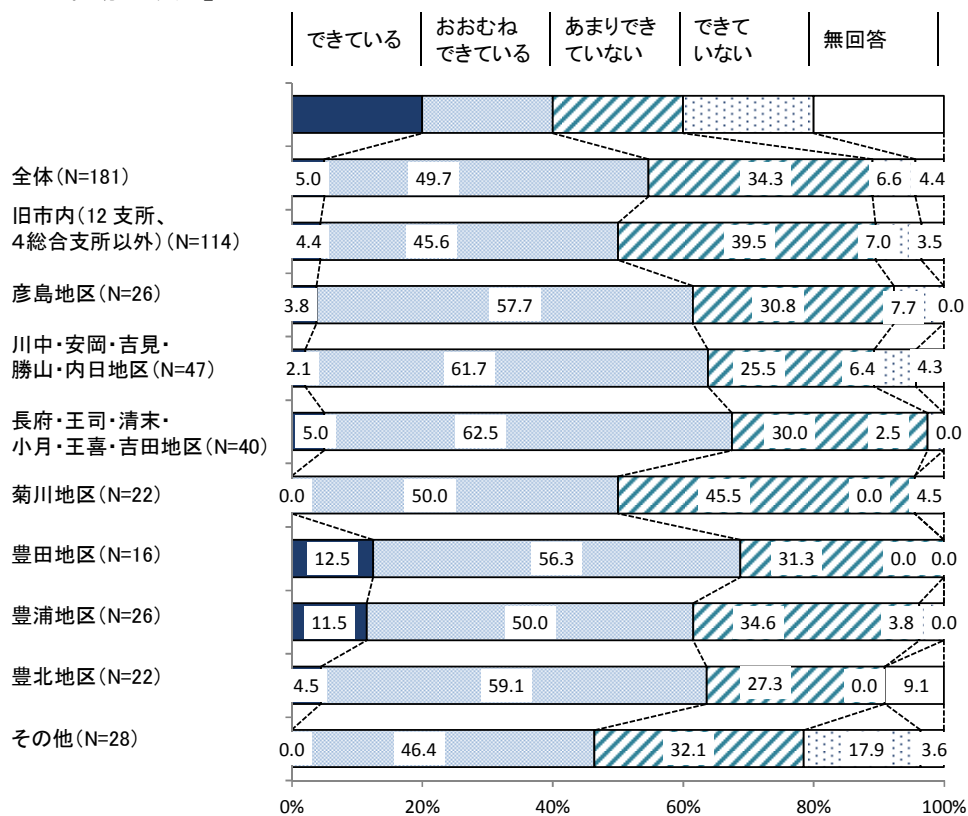
情報発信・情報提供の満足度と団体種別との関連性 (図 20)

【図 20 団体種別】



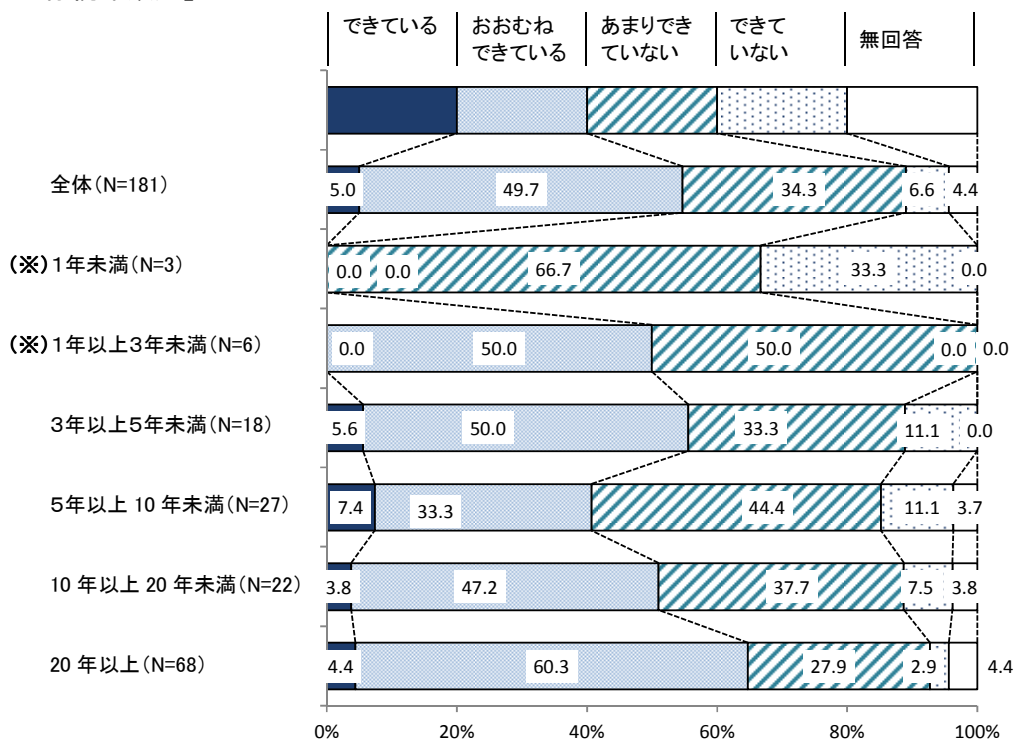
情報発信・情報提供の満足度と主な活動地域との関連性 (図 21)

【図 21 主な活動地域別】



情報発信・情報提供の満足度と存続年数との関連性 (図 22)

【図 22 存続年数別】



(※) サンプル数が少ない「1年未満」と「1年以上3年未満」については参考として掲載している。

(6) 情報についての意見

(問 13)活動に必要な情報の入手と発信・提供についてご意見等ございましたらご自由にご記入ください。

情報についての意見について、「情報発信の課題」に分類されるものが6件と最も多い。ついで、「市報・会報への要望や意見」(4件)、「人材的課題」(3件)となっている。

分類	件数
①情報発信の課題	6
②市報・会報への要望や意見	4
③人材的課題	3
④その他	5
合計	18

分類	番号	内容
①情報発信の課題	1	ブログは積極的に発信しているが、未だ見る人が限られており十分に浸透していない。
	2	定期情報発信(活動内容などの報告を紙面で)。
	3	下関市はイベント等の発信媒体が少ない。
	4	情報の発信(広報)はおおむね出来ていると思います。講座の内容によっては、参加申し込み者が多く、先着順になっている。
	5	事務局に時間とお金があれば市民活動センターでチラシを印刷して各所に発送していただきたいのですが本年度は残念ながら会長の熱意だけでやる他ありません。
	6	市内各公施設での情報提供(案内チラシの設置)をお願いしていますが場所によっては有効に設置されていないように思います(後ろに隠れてしまって)。
②市報・会報への要望や意見	1	小野田市は市報に総合型地域スポーツセンタークラブの情報を載せている。
	2	地域に根ざしているため地域の会報等に情報発信ができればと思っています。
	3	活動を発信する場として、市報に発信するページを割いて欲しい(毎月という訳ではありませんが)。
	4	「市報しものせき」に団体の活動など紹介してほしい。
③人材的課題	1	双方向性のあるHPの掲示板を持ちたいが、管理する人がいないと難しい。メンバーが勤めている人が多い為、専属は無理。
	2	情報の提供は充分にあるが、活かしきれない。スタッフ不足、人材等を含めて、日常業務の遂行に精一杯。
	3	古文書の解読の指導、相談に協力を希望。
④その他	1	活動実施中に会員相互の情報交換。
	2	マンション相談など行政との連携。
	3	地域的な生活環境に関わる前もっての市らの連絡と考え方に対する意見交換場や時。
	4	我々の団体には、山口に本部があり、都合により要請のある時のみ仲間に声掛けをし、確認した後、参加出来る方をお願いをし、冊子作りのボランティアのみです。
	5	合併して数年になりますが未だ一つの団体にならない。市として一団にさせていただく方向にもってほしい。

6 他の団体や地域との連携について

(1) 他の市民活動団体とのつながり

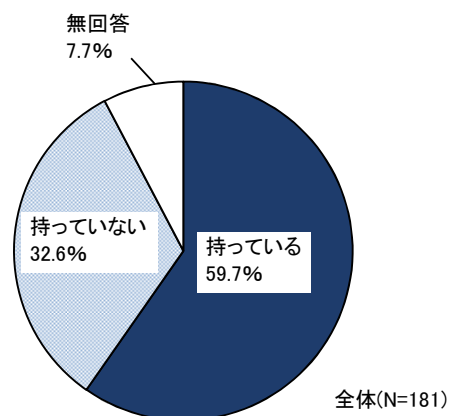
(問 14) あなたの団体は、他の市民活動団体と何らかのつながりを持っていますか。

【あてはまるもの1つに○】

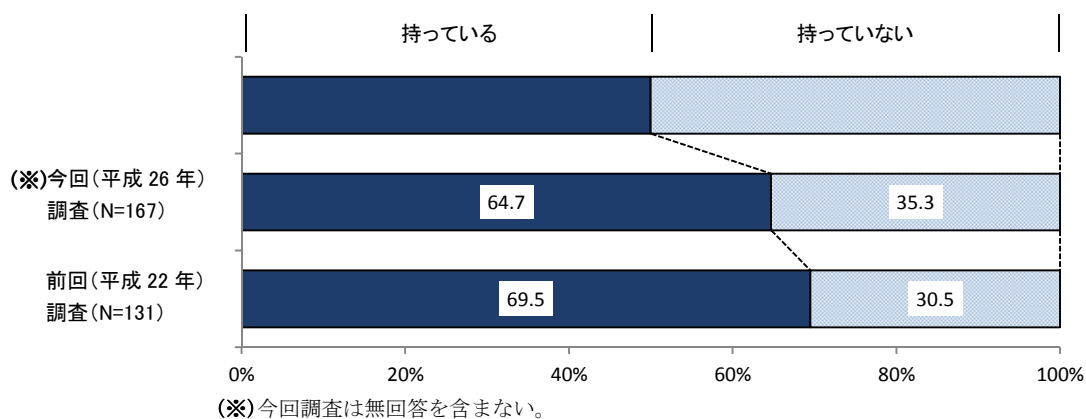
他の市民活動団体とのつながりについて、「持っている」が 59.7%、「持っていない」が 32.6%となっている。

【経年比較】

『今回調査』では『前回調査』に比べて、「持っている」(64.7%)が 4.8 ポイント減少している。



【経年比較】



他の市民活動団体とのつながりと団体の特徴との関連性

(P82 図 23、P83 図 24・25 参照)

他の市民活動団体とのつながりと団体の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【団体種別】

団体種別にかかわらず、他の市民活動団体とのつながりを「持っている」が最も高い。

また、『法人』は、『任意団体』に比べて、他の市民活動団体とのつながりを「持っている」が 19.1 ポイント多くなっている。

【主な活動地域別】

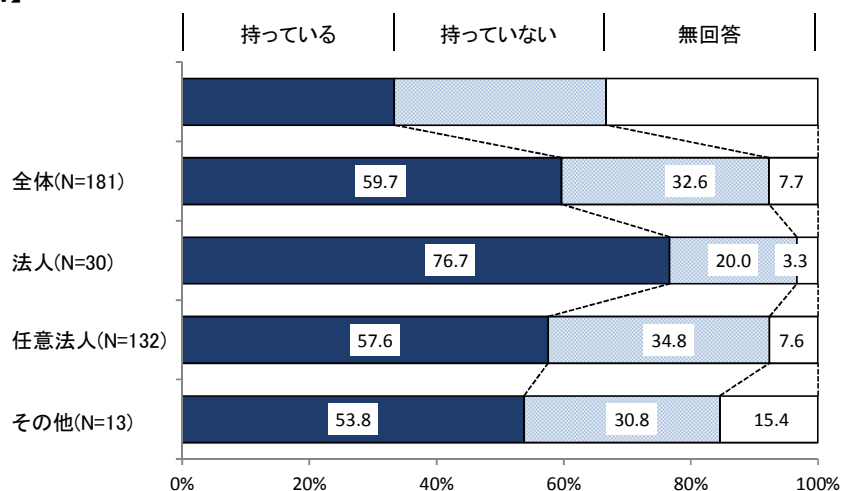
他の活動地域と比べて、『菊川地区』(95.5%)、『豊田地区』(93.8%)は、他の市民活動団体とのつながりを「持っている」が高くなっている。

【存続年数別】

他の団体と比べて、存続年数が『5年以上10年未満』の団体は、他の市民活動団体とのつながりを「持っている」(40.7%)が低くなっている。

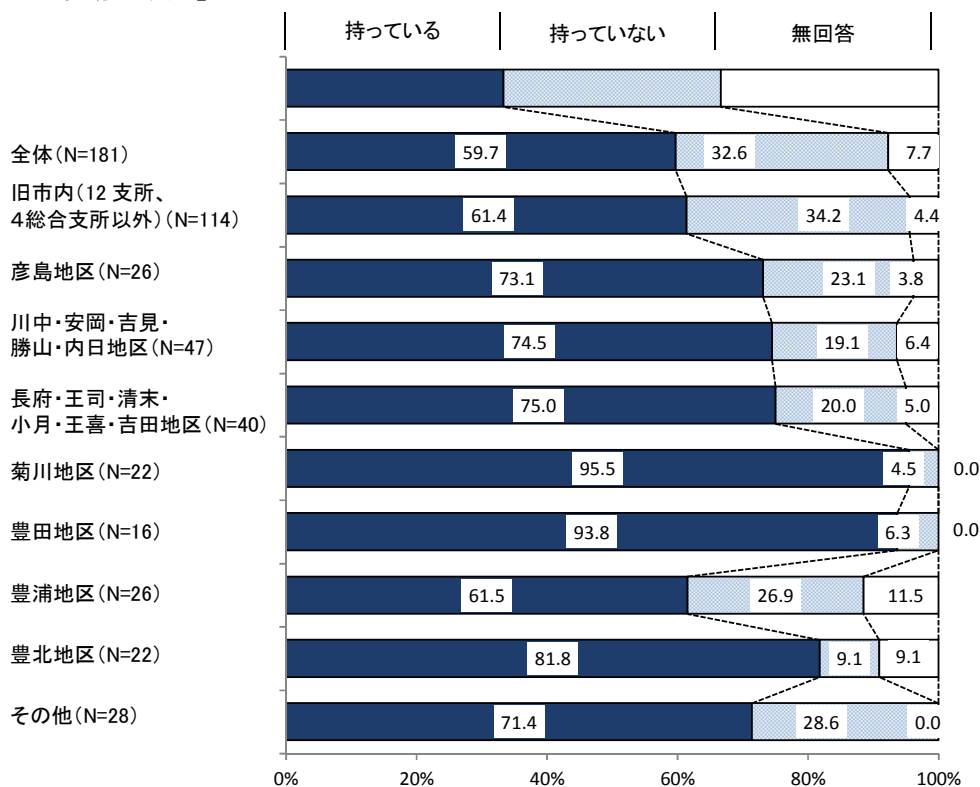
他の市民活動団体とのつながりと団体種別との関連性 (図 23)

【図 23 団体種別】



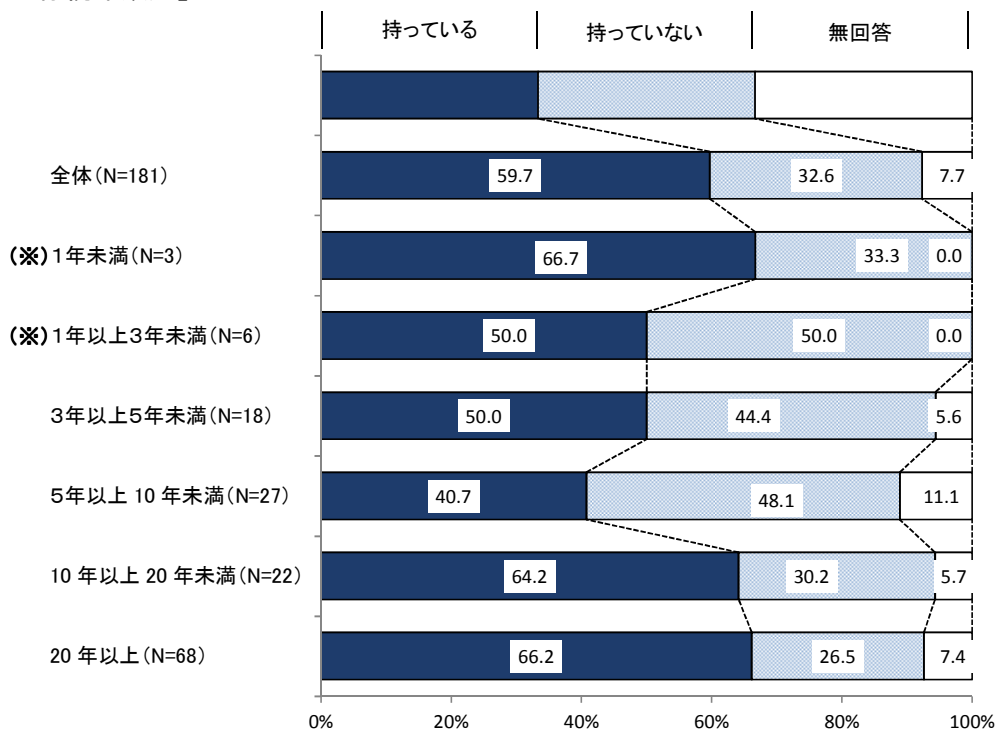
他の市民活動団体とのつながりと主な活動地域との関連性 (図 24)

【図 24 主な活動地域別】



他の市民活動団体とのつながりと存続年数との関連性 (図 25)

【図 25 存続年数別】



(※) サンプル数が少ない「1年未満」と「1年以上3年未満」については参考として掲載している。

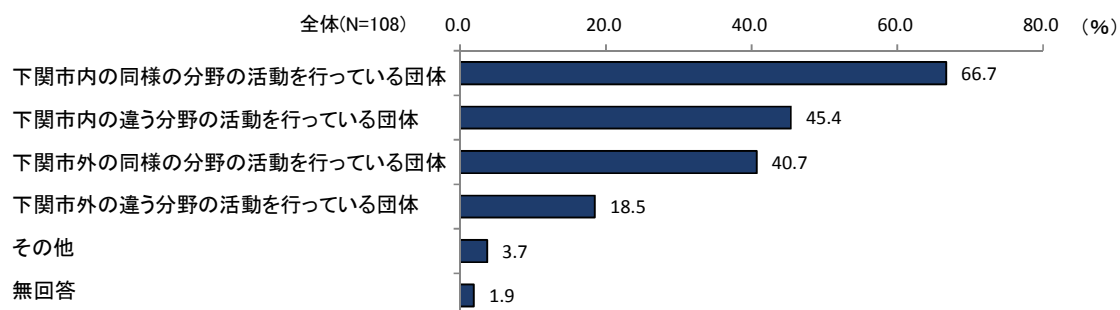
(2) 連携している市民活動団体

(問 14-1)《問 14 で「持っている」に○印をつけた方にお尋ねします。》あなたの団体は、どのような市民活動団体とつながりを持っていますか。【あてはまるものすべてに○】

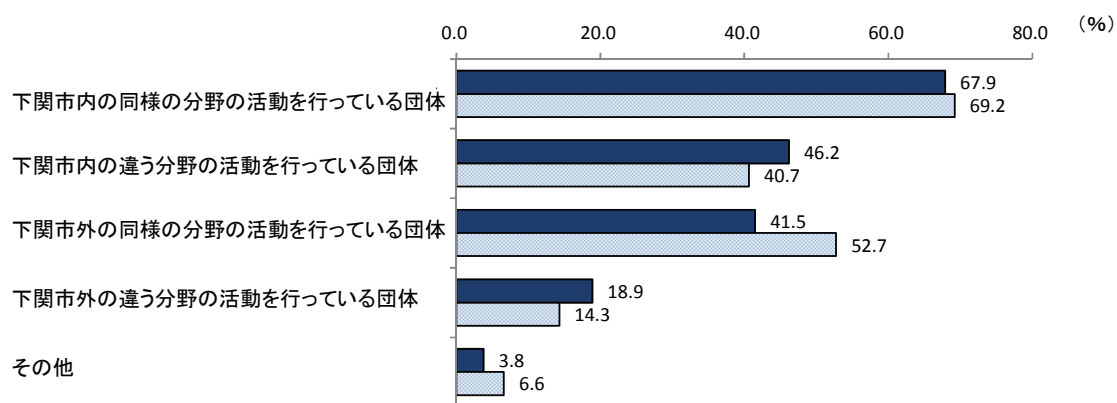
連携している市民活動団体について、「下関市内の同様の分野の活動を行っている団体」が 66.7%と最も高い。ついで、「下関市内の違う分野の活動を行っている団体」(45.4%)、「下関市外の同様の分野の活動を行っている団体」(40.7%)となっている。

【経年比較】

『今回調査』は、『前回調査』に比べて、「下関市外の同様の分野の活動を行っている団体」が 11.2 ポイント減少している。



【経年比較】



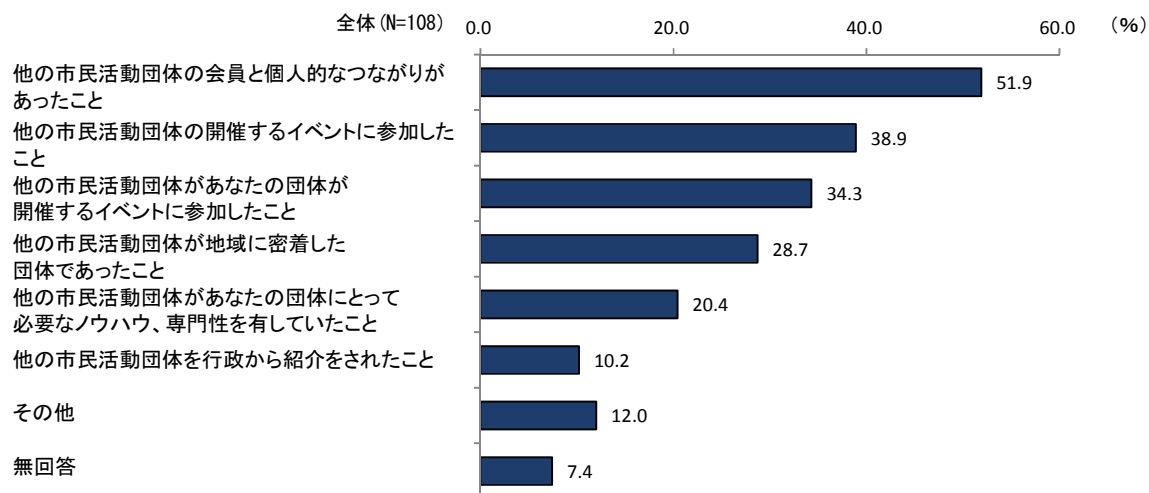
(※) ■ 今回(平成26年)調査(N=106) □ 前回(平成22年)調査(N=91)

(※) 今回調査は無回答を含まない。

(3) 他の市民活動団体とつながりを持つきっかけ

(問 14-2)《問 14 で「持っている」に○印をつけた方にお尋ねします。》あなたの団体が、他の市民活動団体とつながりを持つきっかけとなったことは何ですか。【あてはまるものすべてに○】

他の市民活動団体とつながりを持つきっかけについて、「他の市民活動団体の会員と個人的なつながりがあったこと」が 51.9%と最も高い。ついで、「他の市民活動団体の開催するイベントに参加したこと」(38.9%)、「他の市民活動団体があなたの団体が開催するイベントに参加したこと」(34.3%)となっている。



(4) 地元地域（自治会等）とのつながり

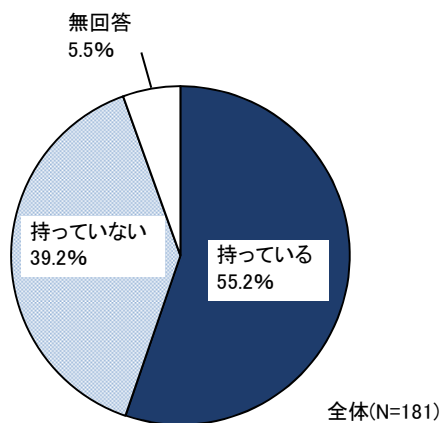
(問 15) あなたの団体は、地元地域(自治会等)と何らかのつながりを持っていますか。

【あてはまるもの1つに○】

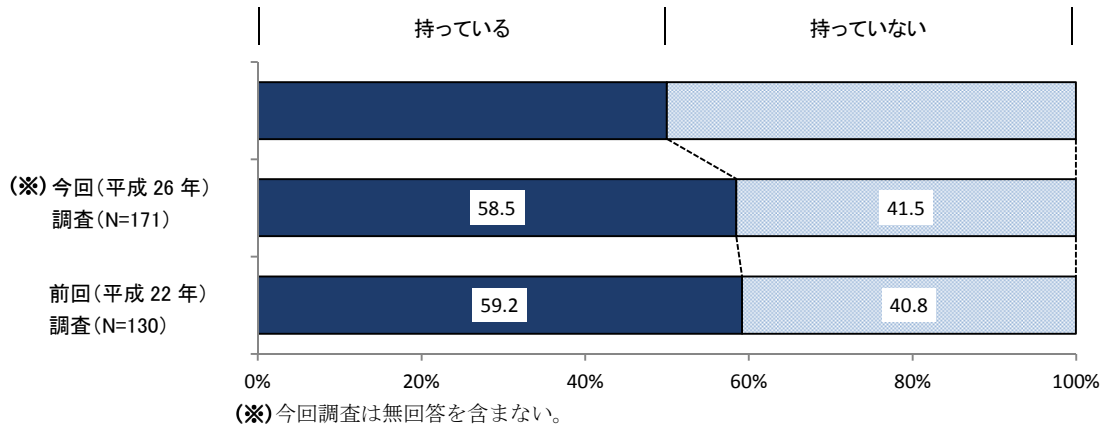
地元地域(自治会等)とのつながりについて、「持っている」が 55.2%、「持っていない」が 39.2%となっている。

【経年比較】

『今回調査』は『前回調査』と同様、「持っている」が高い。



【経年比較】



地元地域（自治会等）とのつながりと団体の特徴との関連性
(P86 図 26、P87 図 27・28 参照)

地元地域(自治会等)とのつながりと団体の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【団体種別】

団体種別にかかわらず、地元地域(自治会等)とのつながりを「持っている」が5割を超えている。

【主な活動地域別】

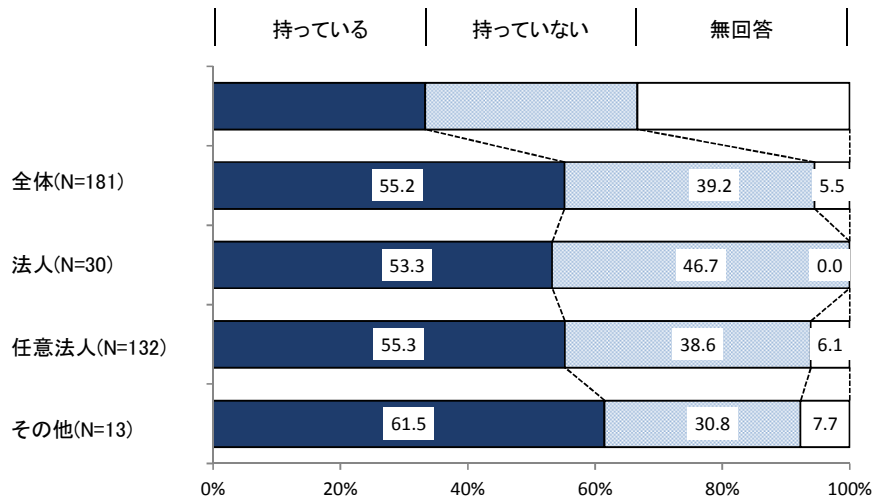
『川中・安岡・吉見・勝山・内日地区』、『豊田地区』、『豊浦地区』、『豊北地区』では、地元地域(自治会等)とのつながりを「持っている」が7割を超えている。

【存続年数別】

『3年以上5年未満』から存続年数が長くなるにつれて、地元地域(自治会等)とのつながりを「持っている」が高くなっている。

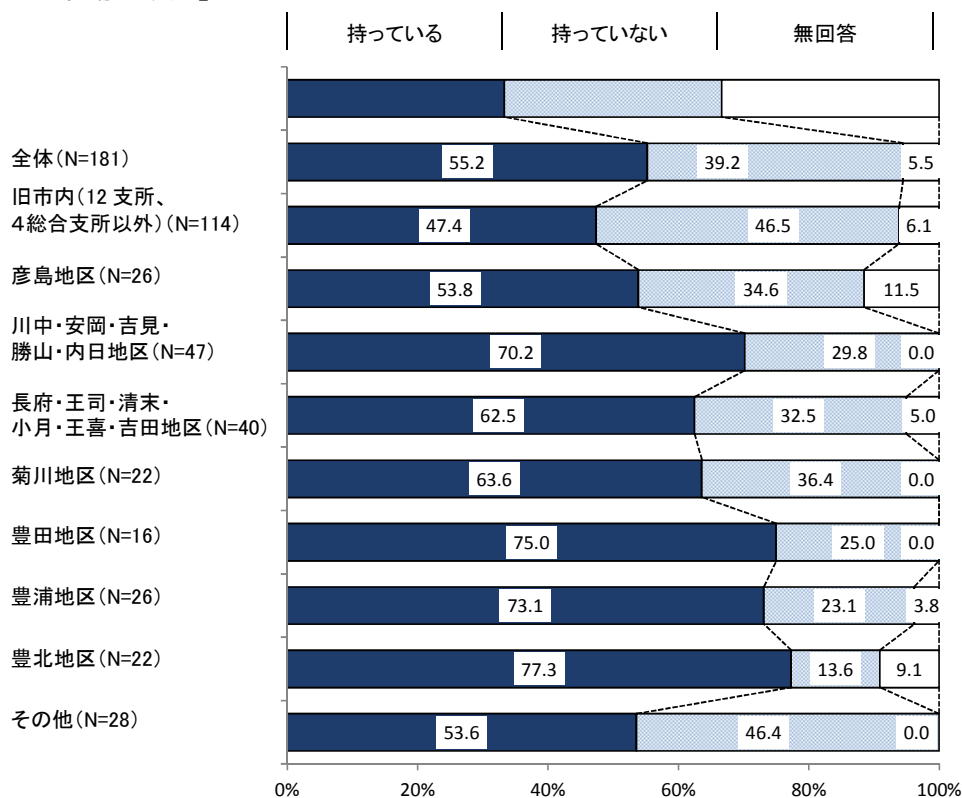
地元地域（自治会等）とのつながりと団体種別との関連性（図 26）

【図 26 団体種別】



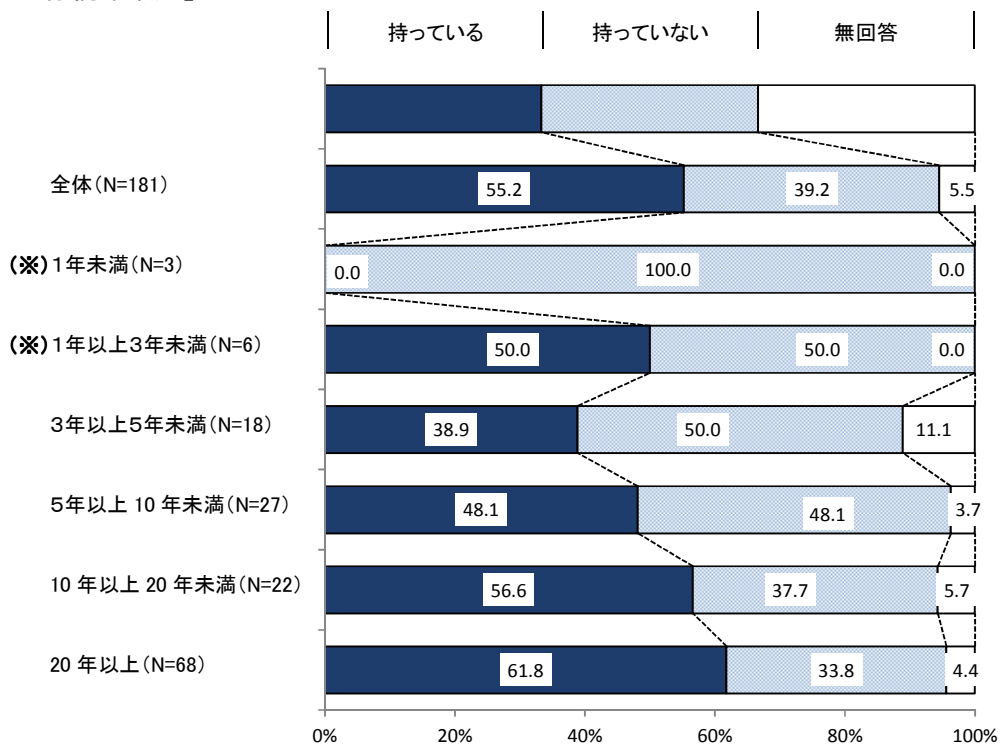
地元地域（自治会等）とのつながりと主な活動地域との関連性（図 27）

【図 27 主な活動地域別】



地元地域（自治会等）とのつながりと存続年数との関連性（図 28）

【図 28 存続年数別】



(※) サンプル数が少ない「1年未満」と「1年以上3年未満」については参考として掲載している。

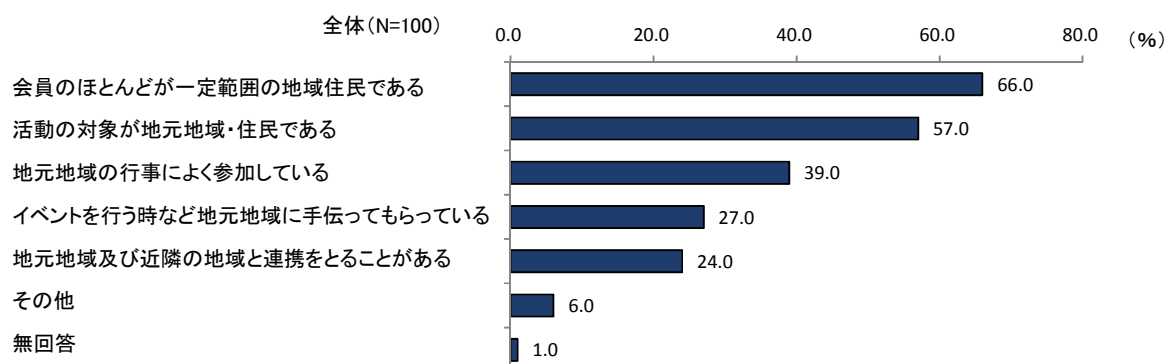
(5) 地元地域（自治会等）とのつながりの内容

(問 15-1)《問 15 で「持っている」に○印をつけた方にお尋ねします。》あなたの団体は、地元地域(自治会等)とどのようなつながりを持っていますか。【あてはまるものすべてに○】

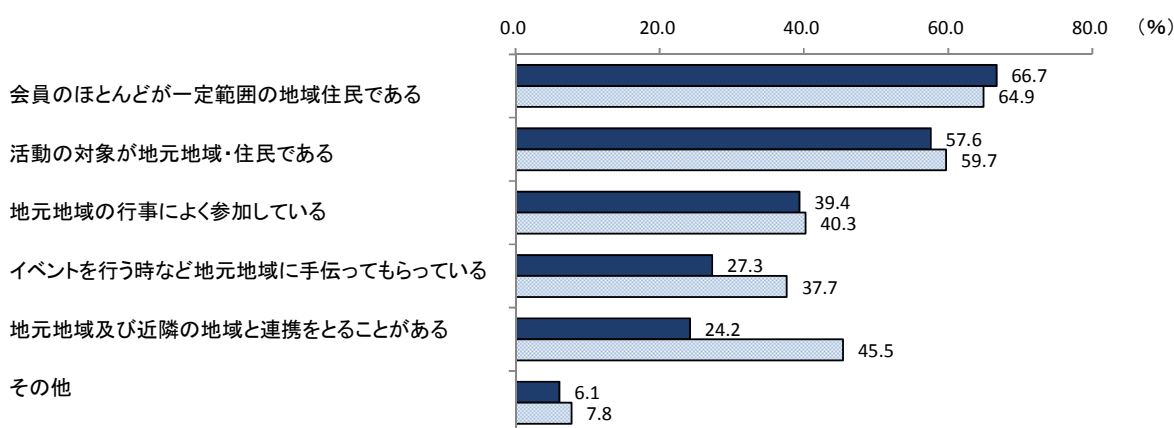
地元地域(自治会等)とのつながりの内容について、「会員のほとんどが一定範囲の地域住民である」が66.0%と最も高い。ついで、「活動の対象が地元地域・住民である」(57.0%)、「地元地域の行事によく参加している」(39.0%)となっている。

【経年比較】

『今回調査』は、『前回調査』に比べて、「イベントを行う時など地元地域に手伝ってもらっている」(24.2%)が21.3ポイント、「地元地域及び近隣の地域と連携をとることがある」(27.3%)が10.4ポイントそれぞれ減少している。



【経年比較】



(※) ■ 今回(平成26年)調査(N=99) □ 前回(平成22年)調査(N=77)

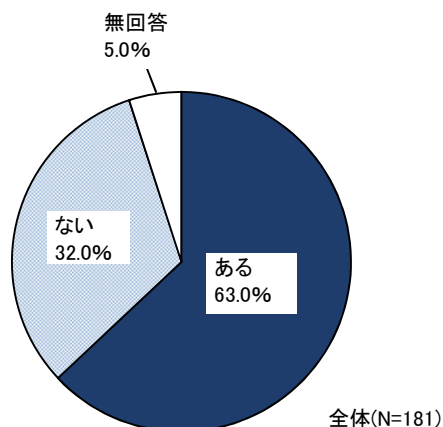
(※) 今回調査は無回答を含まない。

(6) 行政と協働の有無

(問 16) あなたの団体は、行政と※協働したことはありますか。【あてはまるもの1つに○】

行政と協働の有無について、「ある」が 63.0%、「ない」が 32.0%となっている。

(※)「協働」とは・・・市民、市民活動団体等と行政がそれぞれの主体性をもって、互いの特性を活かしながら、地域の課題や社会的課題の解決など、共通の目的(まちづくり)を実現するために協力して行動することをいう。



行政と協働の有無と団体の特徴との関連性 (P89 図 29、P90 図 30・31 参照)

行政と協働の有無と団体の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【団体種別】

団体種別にかかわらず、協働したことが「ある」が 6 割を超えている。

【存続年数別】

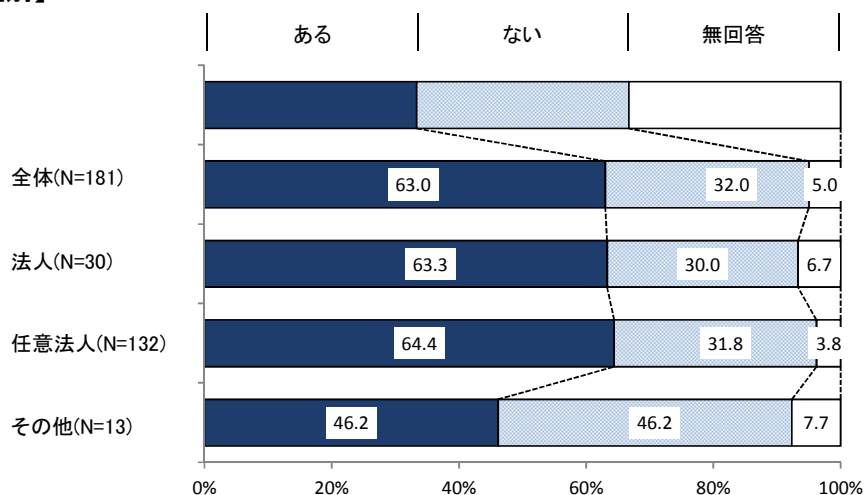
『5 年以上 10 年未満』から存続年数が長くなるにつれて、協働したことが「ある」が高くなっている。

【活動資金別】

他の団体と比べて、活動資金が『500 万未満』の団体は、協働したことが「ある」(87.0%)が高くなっている。

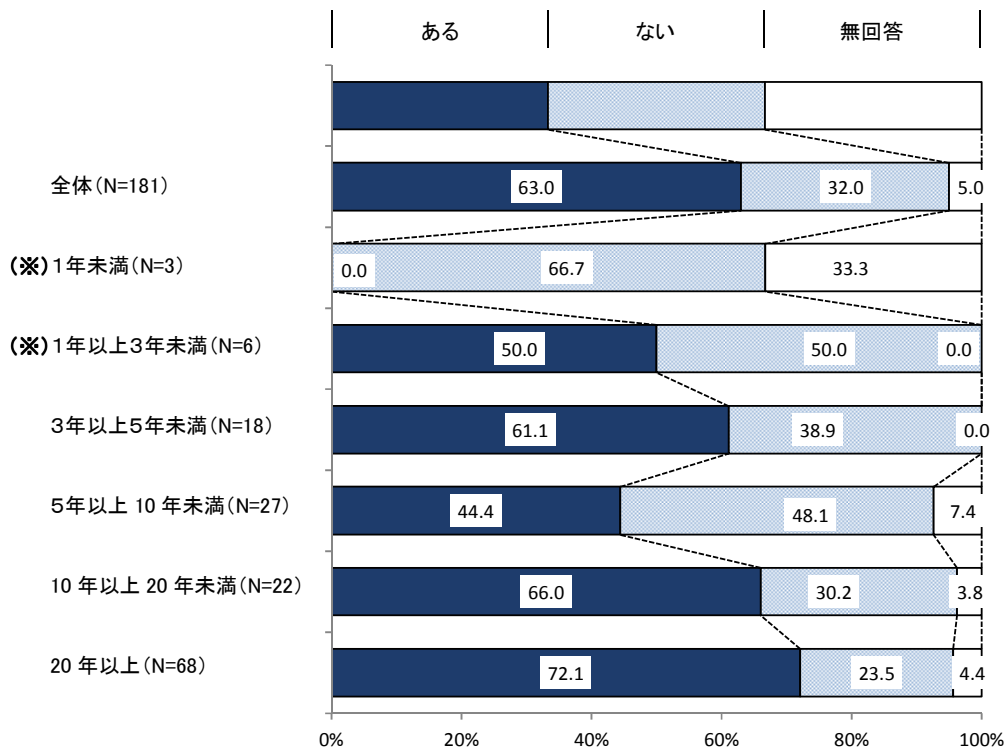
行政と協働の有無と団体種別との関連性 (図 29)

【図 29 団体種別】



行政と協働の有無と存続年数との関連性 (図 30)

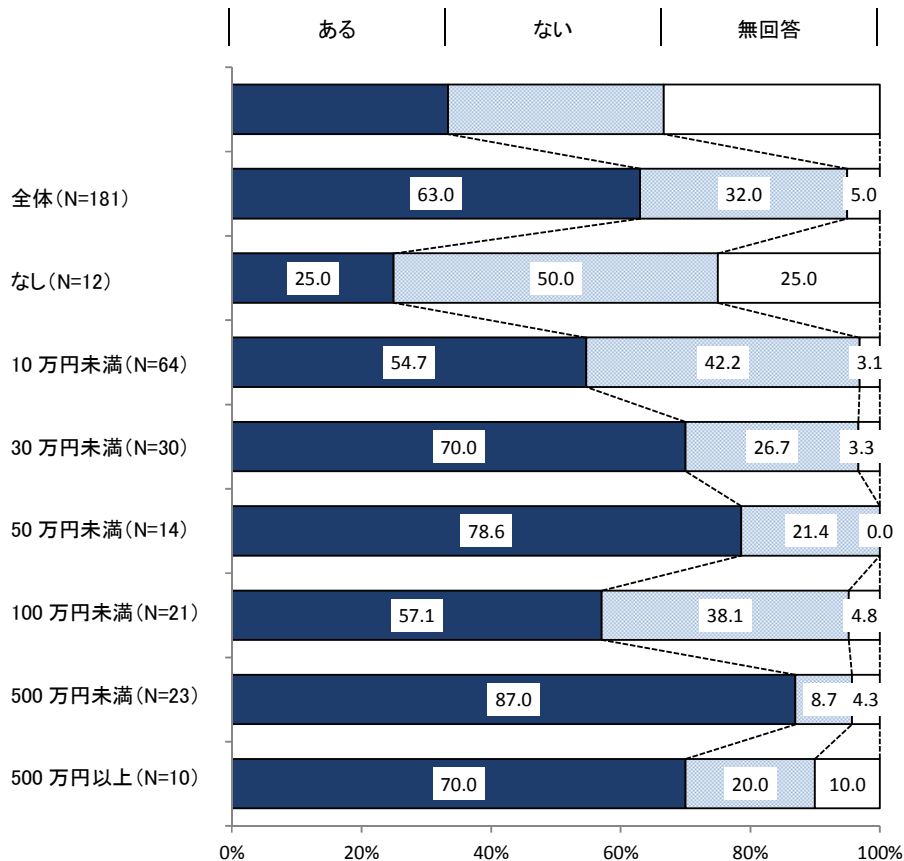
【図 30 存続年数別】



(※) サンプル数が少ない「1年未満」と「1年以上3年未満」については参考として掲載している。

行政と協働の有無と活動資金との関連性 (図 31)

【図 31 活動資金別】

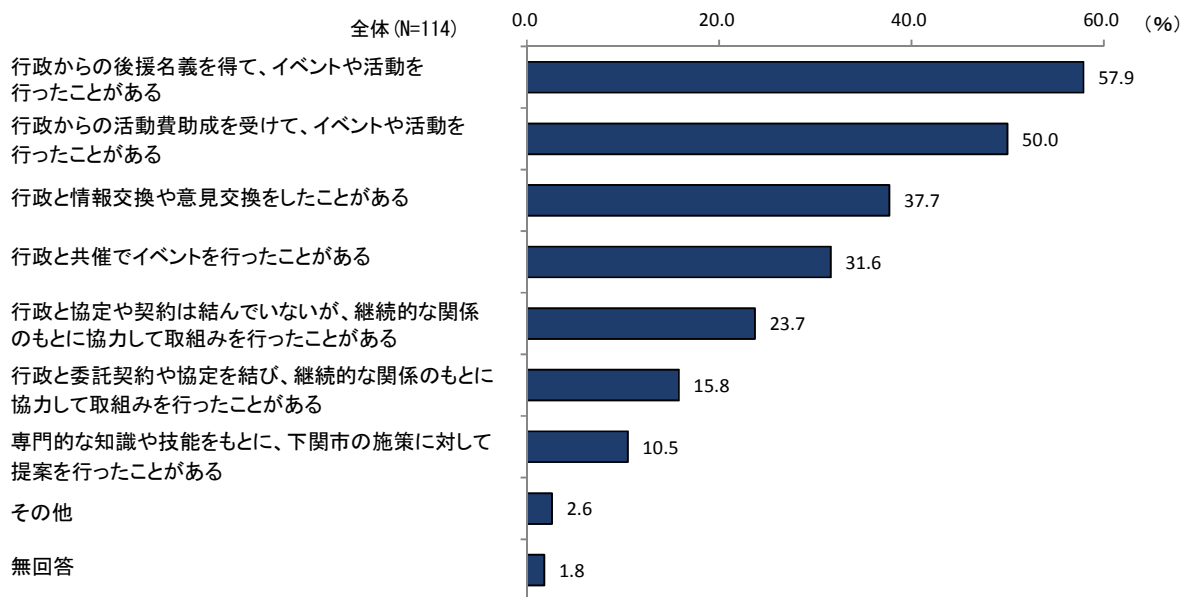


(7) 行政との協働の形

(問 16-1)《問 16 で「ある」に○印をつけた方にお尋ねします。》

あなたの団体は、行政とどのような形で協働しましたか。【あてはまるものすべてに○】

行政と協働の形について、「行政からの後援名義を得て、イベントや活動を行ったことがある」が 57.9%と最も高い。ついで、「行政からの活動費助成を受けて、イベントや活動を行ったことがある」(50.0%)、「行政と情報交換や意見交換をしたことがある」(37.7%)となっている。

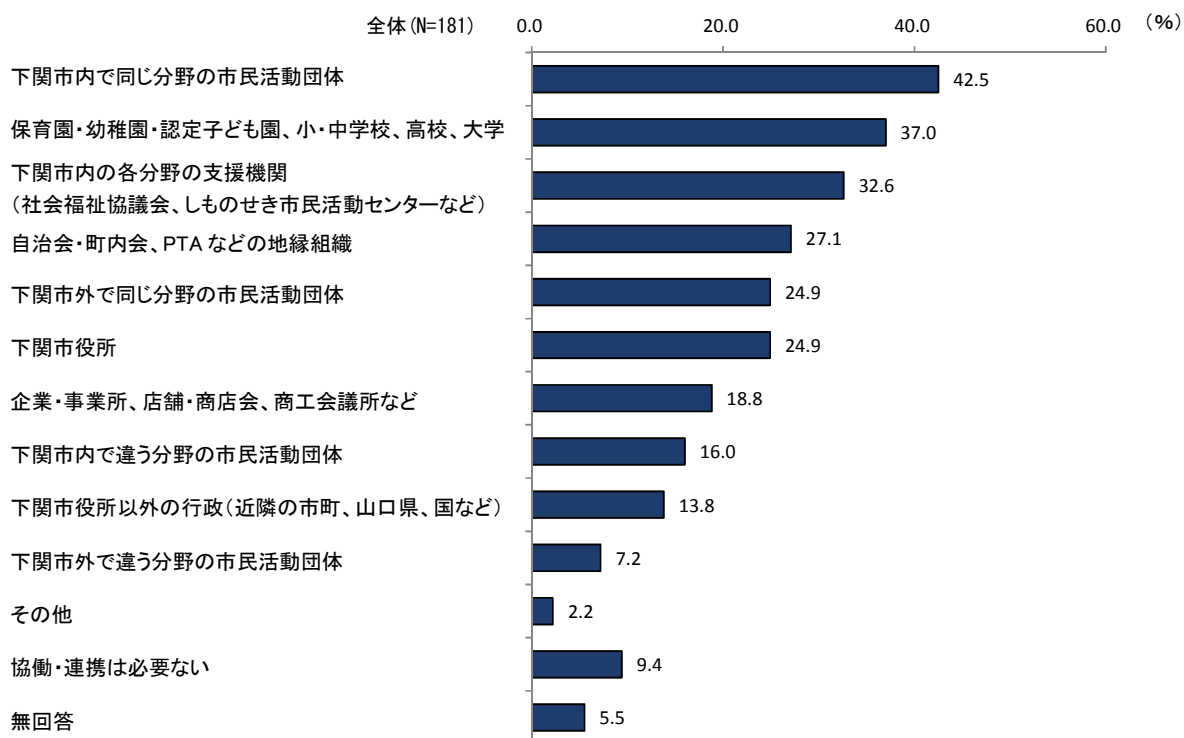


(8) 今後の協働・連携

(問 17) あなたの団体は、今後、どのような団体と協働・連携したいと思いますか。

【あてはまるものすべてに○】

今後の協働・連携について、「下関市内で同じ分野の市民活動団体」が 42.5%と最も高い。ついで、「保育園・幼稚園・認定こども園、小・中学校、高校、大学」(37.0%)、「下関市内の各分野の支援機関(社会福祉協議会、しものせき市民活動センターなど)」(32.6%)となっている。

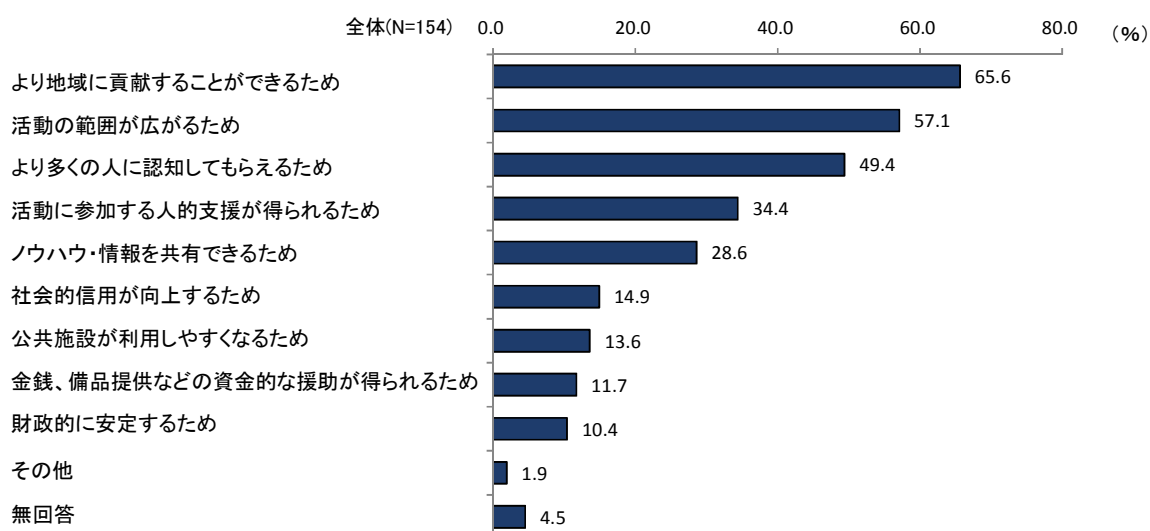


(9) 団体と協働・連携を希望する理由

(問 17-1)《問 17 で「協働・連携は必要ない」以外に○印をつけた方にお尋ねします。》

問 17 で選択した団体と協働・連携したい理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

団体と協働・連携を希望する理由について、「より地域に貢献することができるため」が 65.6%と最も高い。ついで、「活動の範囲が広がるため」(57.1%)、「より多くの人に認知してもらえるため」(49.4%)となっている。



7 市民活動団体に対する施策について

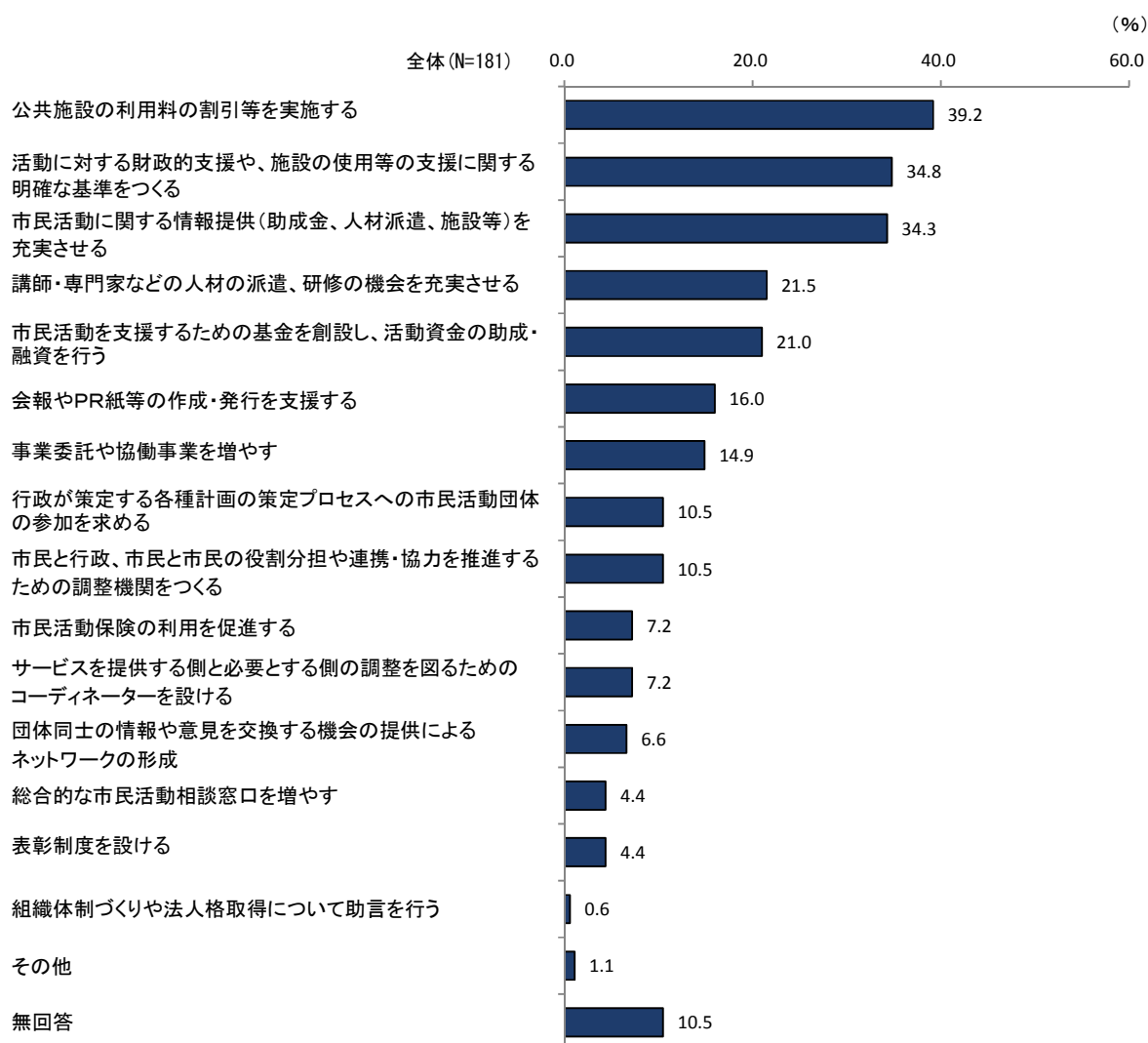
(1) 市民活動団体に対して必要な施策

(問 18) 下関市が今後実施すべき市民活動団体に対する施策について、次のうちから優先順位が高いと思われるものを3つ選んでください。【あてはまるもの3つまでに○】

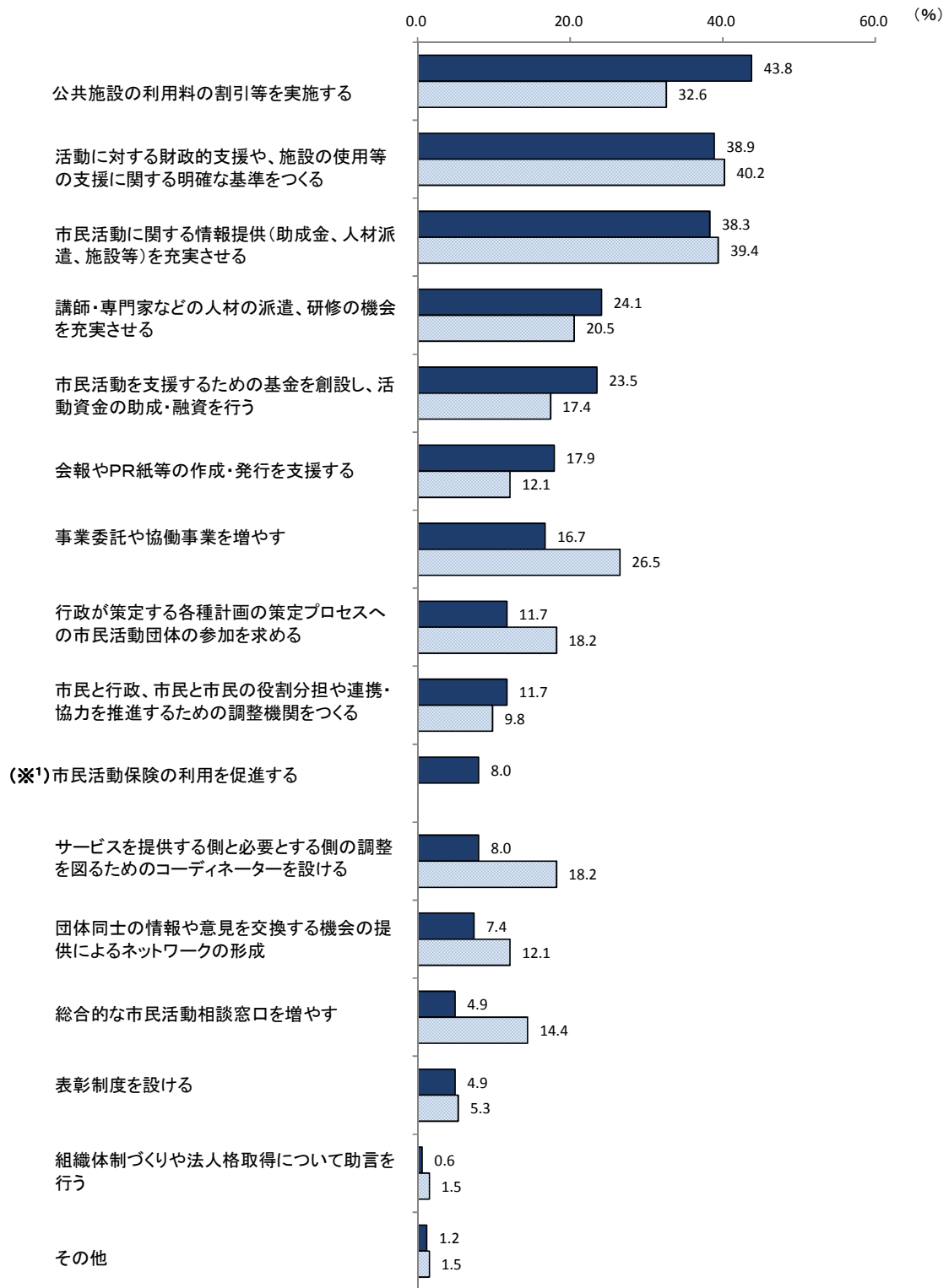
市民活動団体に対して必要な施策について、「公共施設の利用料の割引等を実施する」が 39.2%と最も高い。ついで、「活動に対する財政的支援や、施設の使用等の支援に関する明確な基準をつくる」(34.8%)、「市民活動に関する情報提供(助成金、人材派遣、施設等)を充実させる」(34.3%)となっている。

【経年比較】

『今回調査』は、『前回調査』に比べて、「公共施設の利用料の割引等を実施する」(43.8%)が 11.2 ポイント増加している。



【経年比較】



(※²) ■ 今回(平成26年)調査(N=162) □ 前回(平成22年)調査(N=132)

(※¹)は、前回調査に無い項目

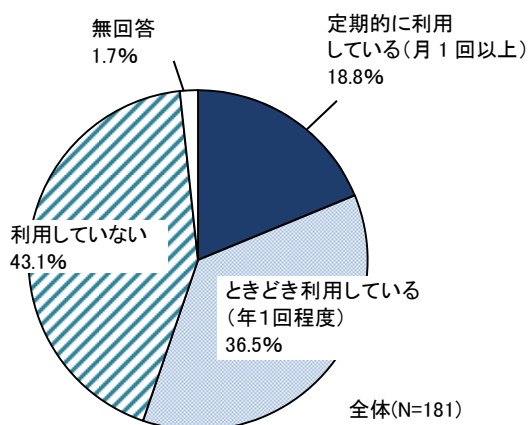
(※²)今回調査は無回答を含まない。

8 しものせき市民活動センターについて

(1) しものせき市民活動センターの利用状況

(問 19) あなたの団体は、しものせき市民活動センターを利用していますか。【あてはまるもの1つに○】

しものせき市民活動センターの利用状況について、「利用していない」が 43.1%と最も高い。ついで、「ときどき利用している(年1回程度)」(36.5%)、「定期的にご利用している(月1回以上)」(18.8%)となっている。



しものせき市民活動センターの利用状況と団体の特徴との関連性

(P96 図 32・33 参照)

しものせき市民活動センターの利用状況と団体の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【主な活動地域別】

「定期的にご利用している(月1回以上)」は、『長府・王司・清末・小月・王喜・吉田地区』(27.5%)が最も高く、ついで『旧市内(12支所、4総合支所以外)』(27.2%)が高い。

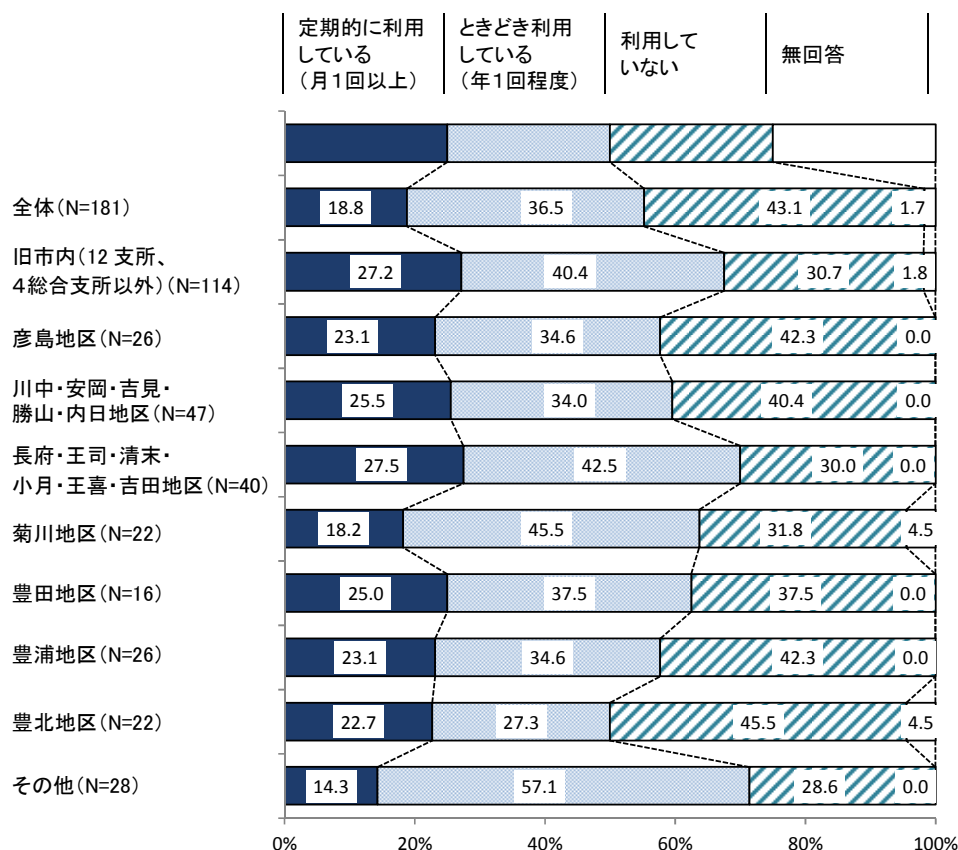
また、「利用していない」は『豊北地区』(45.5%)が最も高く、ついで『彦島地区』、『豊浦地区』(ともに42.3%)が高い。

【存続年数別】

他の団体に比べて、存続年数が『5年以上10年未満』から『20年以上』の団体は、「利用していない」が高く、特に存続年数が『5年以上10年未満』の団体では、「利用していない」が51.9%と最も高い。

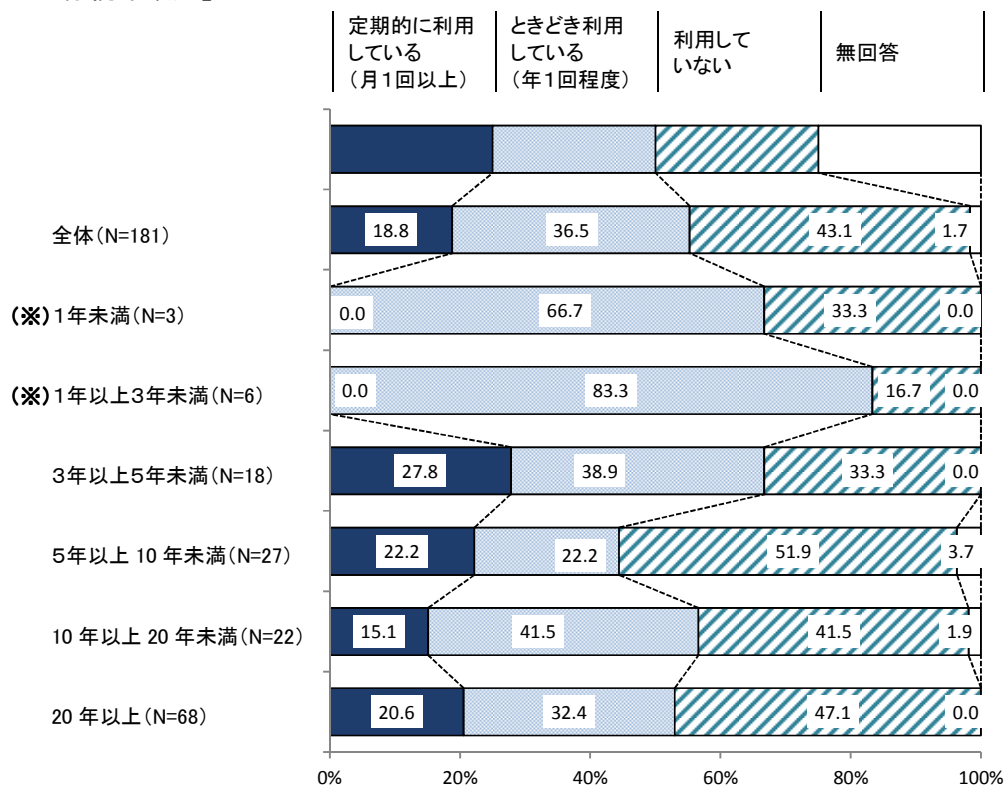
しものせき市民活動センターの利用状況と主な活動地域との関連性 (図 32)

【図 32 主な活動地域別】



しものせき市民活動センターの利用状況と存続年数との関連性 (図 33)

【図 33 存続年数別】



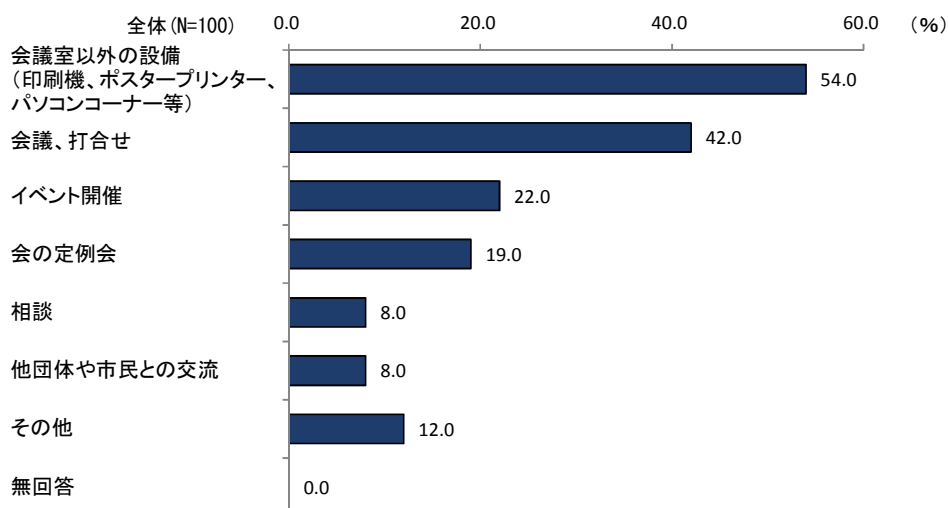
(※) サンプル数が少ない「1年未満」と「1年以上3年未満」については参考として掲載している。

(2) しものせき市民活動センターの利用目的

(問 19-1)《問 19 で「定期的に利用している(月1回以上)」または「ときどき利用している(年1回程度)」に○印をつけた方にお尋ねします。》あなたの団体は、しものせき市民活動センターをどのように利用していますか。

【あてはまるものすべてに○】

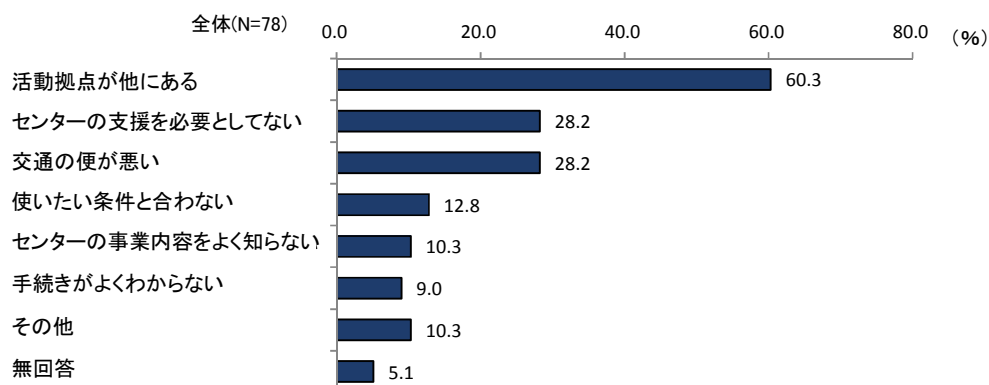
しものせき市民活動センターの利用目的について、「会議室以外の設備(印刷機、ポスタープリンター、パソコンコーナー等)」が 54.0%と最も高い。ついで、「会議、打合せ」(42.0%)、「イベント開催」(22.0%)となっている。



(3) しものせき市民活動センターを利用していない理由

(問 19-2)《問 19 で「利用していない」に○印をつけた方にお尋ねします。》あなたの団体が、しものせき市民活動センターを利用していない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

しものせき市民活動センターを利用していない理由について、「活動拠点が他にある」が 60.3%と最も高い。ついで、「センターの支援を必要としてない」、「交通の便が悪い」(ともに 28.2%)となっている。



しものせき市民活動センターを利用していない理由と団体の特徴との関連性
(P98 表 16 参照)

しものせき市民活動センターを利用していない理由と団体の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【主な活動地域別】

主な活動地域にかかわらず、「活動拠点が他にある」が最も高い。

【存続年数別】

存続年数にかかわらず、「活動拠点が他にある」が最も高い。

しものせき市民活動センターを利用していない理由と主な活動地域・存続年数との関連性(表 16)

【表 16 主な活動地域・存続年数別】

	全 体	活動拠 点が他 にある	センター の支 援を 必要と して ない	交通の便 が悪い	使いた い条 件と 合わ ない	センター の事 業内 容を よく 知ら ない	手続 きが よく わか らな い	その他	無回 答
全 体	78 100.0%	47 60.3%	22 28.2%	22 28.2%	10 12.8%	8 10.3%	7 9.0%	8 10.3%	4 5.1%
主な 活動地域別	旧市内 (12支所、4総合支所以外)	35 100.0%	21 60.0%	4 11.4%	6 17.1%	5 14.3%	4 11.4%	6 17.1%	2 5.7%
	彦島地区	11 100.0%	9 81.8%	1 9.1%	2 18.2%	3 27.3%	1 9.1%	2 18.2%	-
	川中・安岡・吉見・ 勝山・内日地区	19 100.0%	13 68.4%	5 26.3%	4 21.1%	4 21.1%	1 5.3%	2 10.5%	1 5.3%
	長府・王司・清末・ 小月・王喜・吉田地区	12 100.0%	9 75.0%	3 25.0%	5 41.7%	2 16.7%	2 16.7%	1 8.3%	1 8.3%
	菊川地区	7 100.0%	6 85.7%	-	3 42.9%	3 42.9%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%
	豊田地区	6 100.0%	6 100.0%	4 66.7%	3 50.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	-
	豊浦地区	11 100.0%	8 72.7%	2 18.2%	1 9.1%	2 18.2%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%
	豊北地区	10 100.0%	5 50.0%	3 30.0%	4 40.0%	1 10.0%	2 20.0%	2 20.0%	1 10.0%
	その他	8 100.0%	4 50.0%	2 25.0%	-	1 12.5%	-	-	2 25.0%
	存続年数別	1年未満 (※)	1 100.0%	1 100.0%	-	-	-	-	1 100.0%
1年以上3年未満 (※)		1 100.0%	1 100.0%	-	1 100.0%	-	-	-	-
3年以上5年未満		6 100.0%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	-	-	1 16.7%	-
5年以上10年未満		14 100.0%	6 42.9%	3 21.4%	4 28.6%	2 14.3%	1 7.1%	1 7.1%	2 14.3%
10年以上20年未満		22 100.0%	11 50.0%	9 40.9%	5 22.7%	5 22.7%	3 13.6%	3 13.6%	1 4.5%
20年以上		32 100.0%	24 75.0%	9 28.1%	11 34.4%	3 9.4%	4 12.5%	3 9.4%	3 9.4%

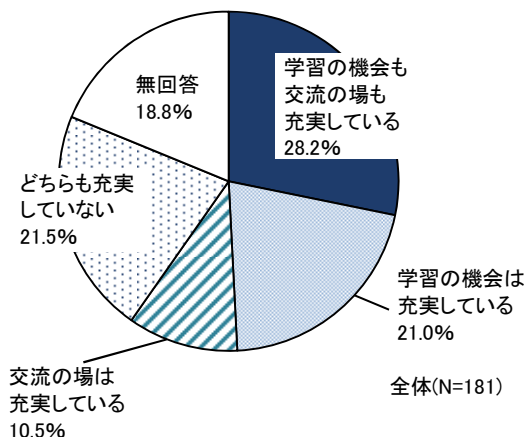
(※) サンプル数が少ない「1年未満」と「1年以上3年未満」については参考として掲載している。

(4) しものせき市民活動センターでの学習の機会・交流の場への満足度

(問 20) あなたの団体の活動を進めるにあたって、しものせき市民活動センターでの学習の機会(スキルアップ講座等)や交流の場(他団体と交流・市民との交流)は十分に設けられていると思いますか。

【あてはまるもの1つに○】

しものせき市民活動センターでの学習の機会・交流の場への満足度について、「学習の機会も交流の場も充実している」が 28.2%と最も高い。ついで、「どちらも充実していない」(21.5%)、「学習の機会は充実している」(21.0%)となっている。

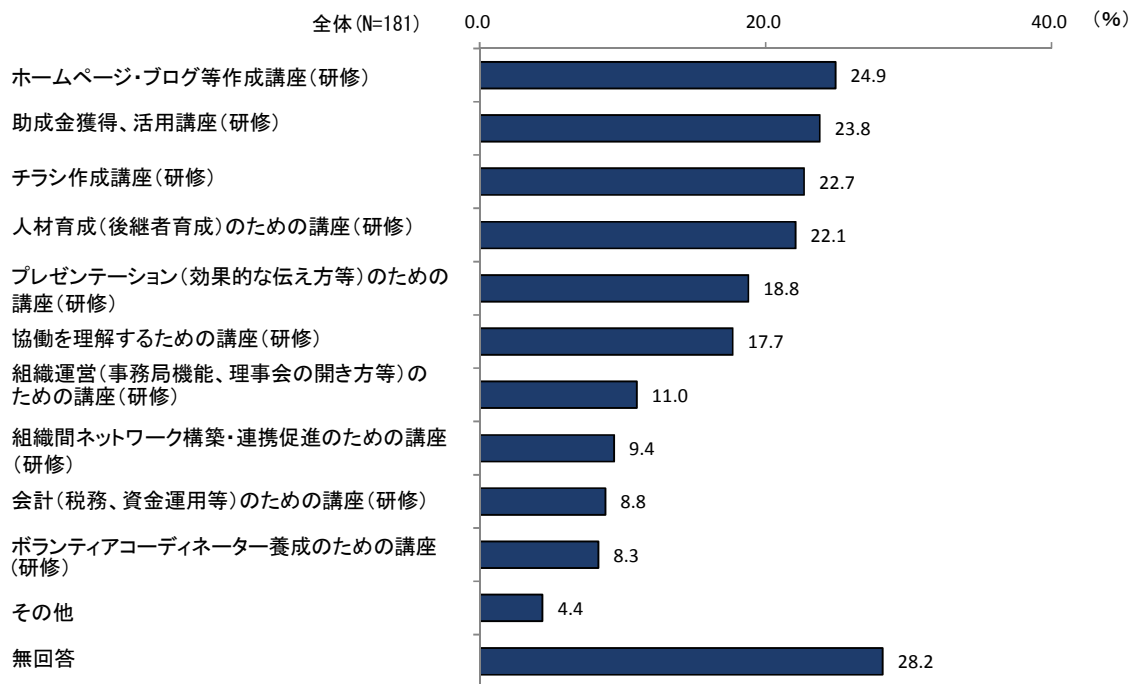


(5) 今後希望する講座(研修)

(問 21) あなたの団体の活動を進めるにあたって、今後どのような講座(研修)を求めますか。

【あてはまるものすべてに○】

今後希望する講座(研修)について、「ホームページ・ブログ等作成講座(研修)」が 24.9%と最も高い。ついで、「助成金獲得、活用講座(研修)」(23.8%)、「チラシ作成講座(研修)」(22.7%)となっている。



今後希望する講座（研修）と団体の特徴との関連性（P100 表 17 参照）

今後希望する講座（研修）と団体の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【団体種別】

『法人』は「助成金獲得、活用講座（研修）」（43.3%）が最も高く、『任意団体』は「ホームページ・ブログ等作成講座（研修）」（25.8%）が最も高い。

【団体規模（登録人数）】

団体規模（登録人数）にかかわらず、希望する講座（研修）は多様である。

【存続年数別】

存続年数にかかわらず、希望する講座（研修）は多様である。

今後希望する講座（研修）と団体種別・団体規模（登録人数）・存続年数との関連性（表 17）

【表 17 団体種別・団体規模（登録人数）・存続年数別】

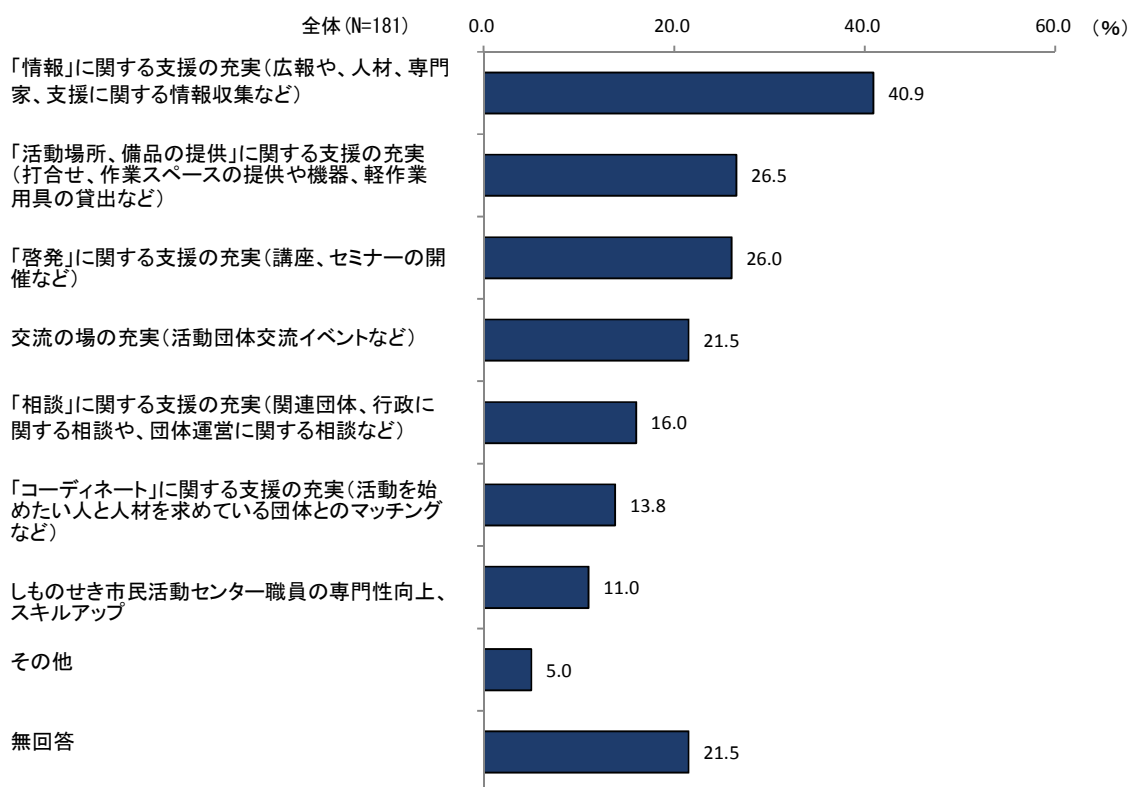
		全体	ホームページ・ブログ等作成講座（研修）	助成金獲得、活用講座（研修）	チラシ作成講座（研修）	人材育成（後継者育成）のための講座（研修）	プレゼンテーション（効果的な伝え方等）のための講座（研修）	協働を理解するための講座（研修）	組織運営（事務局機能、理事会の開き方等）のための講座（研修）	組織間ネットワーク・連携促進のための講座（研修）	会計（税務、資金運用等）のための講座（研修）	ボランティア・コーディネーター養成のための講座（研修）	その他	無回答
全体		181 100.0%	45 24.9%	43 23.8%	41 22.7%	40 22.1%	34 18.8%	32 17.7%	20 11.0%	17 9.4%	16 8.8%	15 8.3%	8 4.4%	51 28.2%
団体種別	法人	30 100.0%	6 20.0%	13 43.3%	6 20.0%	6 20.0%	7 23.3%	7 23.3%	5 16.7%	6 20.0%	7 23.3%	3 10.0%	1 3.3%	6 20.0%
	任意団体	132 100.0%	34 25.8%	27 20.5%	32 24.2%	31 23.5%	25 18.9%	22 16.7%	15 11.4%	11 8.3%	9 6.8%	10 7.6%	6 4.5%	38 28.8%
	その他	13 100.0%	4 30.8%	2 15.4%	2 15.4%	2 15.4%	2 15.4%	3 23.1%	-	-	-	1 7.7%	1 7.7%	4 30.8%
団体規模別（登録人数）	10人以下	41 100.0%	12 29.3%	11 26.8%	12 29.3%	8 19.5%	6 14.6%	4 9.8%	2 4.9%	4 9.8%	3 7.3%	3 7.3%	3 7.3%	10 24.4%
	11～50人	78 100.0%	20 25.6%	15 19.2%	18 23.1%	19 24.4%	16 20.5%	15 19.2%	10 12.8%	8 10.3%	7 9.0%	6 7.7%	3 3.8%	24 30.8%
	51～1000人	46 100.0%	12 26.1%	15 32.6%	10 21.7%	11 23.9%	9 19.6%	11 23.9%	6 13.0%	5 10.9%	6 13.0%	5 10.9%	1 2.2%	9 19.6%
	1001人以上	10 100.0%	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%	-	2 20.0%	1 10.0%	2 20.0%	-	-	-	1 10.0%	5 50.0%
存続年数別	1年未満（※）	3 100.0%	3 100.0%	2 66.7%	2 66.7%	-	-	-	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	-	-	-
	1年以上3年未満（※）	6 100.0%	3 50.0%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	-	1 16.7%
	3年以上5年未満	18 100.0%	7 38.9%	6 33.3%	11 61.1%	6 33.3%	3 16.7%	2 11.1%	7 38.9%	2 11.1%	3 16.7%	-	1 5.6%	1 5.6%
	5年以上10年未満	27 100.0%	8 29.6%	7 25.9%	4 14.8%	4 14.8%	6 22.2%	5 18.5%	2 7.4%	2 7.4%	4 14.8%	4 14.8%	-	7 25.9%
	10年以上20年未満	53 100.0%	7 13.2%	13 24.5%	11 20.8%	14 26.4%	9 17.0%	12 22.6%	4 7.5%	6 11.3%	4 7.5%	5 9.4%	3 5.7%	18 34.0%
	20年以上	68 100.0%	17 25.0%	11 16.2%	12 17.6%	13 19.1%	14 20.6%	12 17.6%	5 7.4%	5 7.4%	2 2.9%	5 7.4%	3 4.4%	21 30.9%

（※）サンプル数が少ない「1年未満」と「1年以上3年未満」については参考として掲載している。

(6) しものせき市民活動センターへ期待すること

(問 22)あなたの団体の活動を進めるにあたって、今後、しものせき市民活動センターにどのようなことを期待しますか。【あてはまるものすべてに○】

しものせき市民活動センターへ期待することについて、『「情報」に関する支援の充実(広報や、人材、専門家、支援に関する情報収集など)』が 40.9%と最も高い。ついで、『「活動場所、備品の提供」に関する支援の充実(打合せ、作業スペースの提供や機器、軽作業用具の貸出など)』(26.5%)、『「啓発」に関する支援の充実(講座、セミナーの開催など)』(26.0%)となっている。

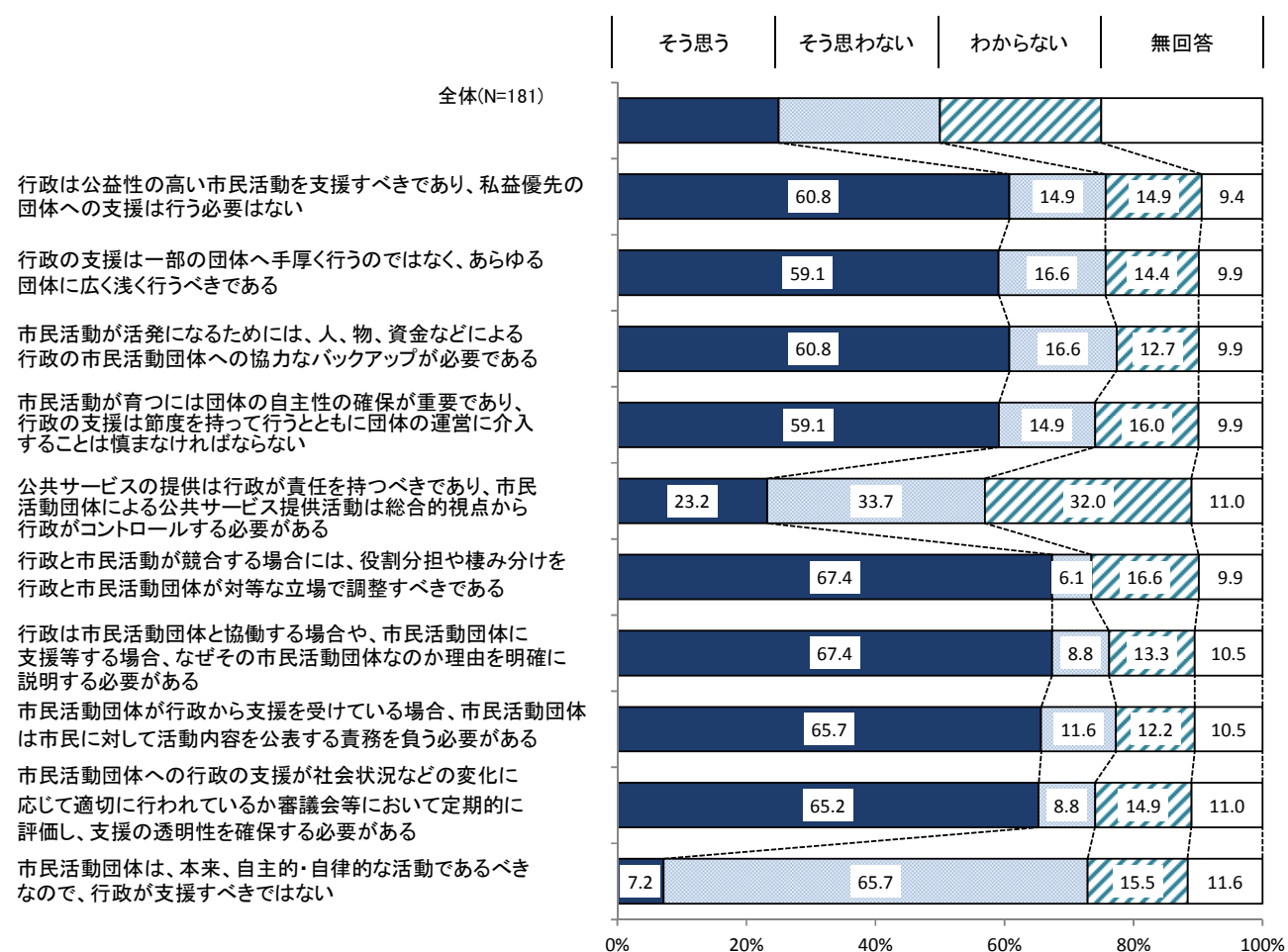


9 市民活動団体と行政との望ましい関係について

(1) 団体の考え方

(問 23) 次のような考えに対して、あなたの団体の考え方はどれに一番近いですか。それぞれ「そう思う」は1、「そう思わない」は2、「わからない」は3に○印をつけてください。【それぞれあてはまるもの1つに○】

団体の考え方について、「そう思う」が最も高いのは、『行政と市民活動が競合する場合には、役割分担や棲み分けを行政と市民活動団体が対等な立場で調整すべきである』(67.4%)と『行政は市民活動団体と協働する場合や、市民活動団体に支援等する場合、なぜその市民活動団体なのか理由を明確に説明する必要がある』(67.4%)となっている。ついで、『市民活動団体が行政から支援を受けている場合、市民活動団体は市民に対して活動内容を公表する責務を負う必要がある』(65.7%)となっている。また、「そう思わない」が最も高いのは、『市民活動団体は、本来、自主的・自律的な活動であるべきなので、行政が支援すべきではない』(65.7%)となっている。



10 自由記述について

(問 24) 下関市における市民協働や市民活動の推進について、ご意見などをご自由にご記入ください。

自由記述について、「市に対しての意見」に分類されるものが9件と最も高くなっている。ついで、「団体について(アンケート回答団体)」(8件)、「市民活動全般」(4件)、「市民活動センター等の公共施設について」(4件)となっている。

分類(市民協働参画に関わるもの)	件数
①市に対しての意見	9
②市民活動全般	4
③支援等について	2
④市民活動センター等の公共施設について	4
⑤団体について(アンケート回答団体)	8
⑥アンケートについて	3
合計	30

(1) 自由記述の内容

自由記述について、分類別にまとめた。

①市に対しての意見

番号	意見
1	日頃、市民文化課及びしものせき市民活動の職員の皆様には大変、お世話になっております。心より感謝いたします。下関市に多くの市民活動団体が存在することは、大変素晴らしいことと思います。しかし、市民活動団体同志はもちろん、市民の皆さんにも、市役所で働いてくださっている市の職員の方々にも、存在を認知されていないと感じて淋しく思うことが多くあります。”協働”とは程遠く感じてしまう時もあります。そこで、たとえば市役所や支所などに「市民活動コーナー」を設置して頂き各団体からの情報・行事開催案内などが置かれたら、多くの市民の方に知って頂き、利用・活動をされて行くのではないのでしょうか。初めは、なかなか成果が上がりにくいかもしれませんが継続され定着してゆくことで良い結果が得られるかもしれません。行政との協働が促進されてゆくために、具体的な方法やご提案などを頂けたら歩みやすいように思います。市民は行政に遠慮をさせていただきますので…。この度のように意識調査をして頂いたこと、見直しを踏まえ「下関市市民協働参画条例」が生かされてゆくことを願っております。ありがとうございました。どうぞよろしく願いいたします。
2	市民活動 ボランティアに対して他県では点数表を作り自分がその時必要になったらその点数を利用出来る仕組みがあるとテレビでやっています。下関でそういう制度があったらいいと思います。
3	1、助成金の審査者や各活動有資格者は、今の者では先は無く、広くガムシャラに努力・吸収する動きの有るエネルギーな者を集め街づくりと言う課題に、明治維新以降の先人の努力で経済で全国有数に成り、その中で様々な産業等で生き、今までの、おつり、で生きている現在です。血がにじむぐらい目を見開き、急いでトップクラスの意識改革や入れ替え等を行う事が大事です。 2、下関市役所の進めようとしている事が矛盾していて良く理解できない。今のままで良ければ、何もしなくて良いが、今のままでは、良くないから、何かをするのであれば、現実役所の行っている、例外は認めないを、基本にマニフェストに沿った対応しかしない事が、人が業務として、機械と違った人としての、理解力を基本とした事の行いを果たす事を最優先教育だと重ねて言う。例外は認めないとは、今までしか認めない事と成り、先は、認めない事と成りますが、早く理解し改革して頂きたい。
4	市民の市民活動に対する意識レベルを上げる為の講座、研修を常に行ってほしい。
5	我々の会は今年、市民活動事業の補助金関係に十分な準備をして申請したが残念なことに不採用となった。不採用の理由が事実と反していた。もう一つの理由は、申請内容が専門的過ぎるということであった。これも全く理解できない。会としては時間をかけ市民文化課に問合せ足を運んでもいる。会としてこの審議●査委員会なるものに不満と憤りを感じている。今後、専門性のあるものは申請対象としないことを明記していただきたい。(書類作成に大変な手間をかけているから)補助金関係の審査には、しっかりした学識経験者を入れること、文化とは何かしっかりした認識をもつ方が必要である。市民文化課の責任ある方にご回答をお願いします。○○○○○○○○ ○○ ○○○○

番号	意見
6	1、市民活動団体のネットワークの構築により、情報を共有し、依頼、協力、応援等活動を活発にし、行動範囲を広げられるように検討して頂きたい。2.活動団体の活動の場所がない。(駐車場を含めて)「団体の活動内容にもよるが、事務器(コピー機、文房具、プリンター等)の保管場所の確保が困難である。公共施設では、自由に使用できる環境でない。」下関市として、ボランティア団体が活動できる場所(部屋)を提供して頂きたい。(曜日、時間は利用したい団体間で調整する)3.このアンケートの集約結果、市民活動促進のためにも具体的施策について公表して頂きたい。
7	合併後、行政(総合支所関係課)の支援、協働アドバイス等の手が希薄になったように感じる。もう少し住民に開かれた行政であってほしい。豊北町等地方は、高齢化が急速に進み、若者の姿がほとんどない。できることなら土日の休日の行事に市職員(町内在住、出身者でよい)の積極的参加を進めてほしい。
8	お世話になっている。いつも御助言、御指導ありがとうございます。まだ始めたばかりでわからない事だけです。今後とも、よろしく御指導お願いいたします。
9	しものせき市民活動センターのスタッフの皆さんには、いつも大変親切に対応していただいております。ありがとうございます。

②市民活動全般

番号	意見
1	1.市民活動について、行政はもっと関心を持つべきだと思う。公共性の高い活動が無償ボランティアというものは、いかがなものか。必要経費については、行政が補助するシステムを創る必要がある。 2.市民活動が市民のやりがい生きがいに支えられているのでは、大きな広がり期待できないのではないか。今後、行政では対応しきれてない市民サービスに対し、市民活動で補完されることが必要になり、重要となると思う。3.最後に市民活動の推進についてよくできていれば関係者も人の子、県はほめるが市はほめない。(蛇足ながら)4.活動が永く、活発になると外部での発表や視察があり、対応を求められるが、うれしい反面、時間、費用面で資料準備等負担になることも少なくない。例えば当該アンケートのようなものが県や他の機関から求められることがある。
2	市民団体が活動する場、発表する場が広がり、活動が活発になっていけばいいと思う。発表、イベントなどがある場合、もっと市民へ広く告知できるツールがもっと増えてほしい。知る人ぞ知るでは、活発になっていかない。
3	市民活動の拠点があるのは非常にありがたい。今後も充実を図って多くの活動団体が協働して発展出来るように努めてもらいたい。
4	まだ団体どうしの横のつながり協働が弱いと思います。

③支援等について

番号	意見
1	下関市は、市民のボランティアに頼ってばかりで財政的な支援を最優先で行なうべきである。各市民活動団体への助成金、補助金等のカットには断固反対であり、逆に増やす方向で考えてほしい。
2	①公民館の使用(利用)料金について 年間予定表で実施計画申請するが、予定変更で余分に料金が掛る。使用実績ベースでの課金にできないのだろうか? ②展示用柵(ガラス戸柵)、キャビネットを年間使用許可申請しているが、キーが故障、調子が悪くて開閉できないものがある。メンテナンス費用(例えばキー交換)が高額になるが、これの費用負担軽減等はないのだろうか?(交換で8000円かかったことあり。)③活動成果の出版(小冊子作成)等に費用補助制度は無いのか? 成果を広く関係者、関係機関に提供したいのだが。

④市民活動センター等の公共施設について

番号	意見
1	市民活動の登録団体の多さに驚きました。市民活動センターに登録しましたが、うまく活用できておらず団体にとって登録したことによる利益も不明であることが現状です。相談、利用方法の窓口を分かりやすくして頂きたいです。(どの様な相談を受けてくれるかなど)活動場所としても駐車場が確保できないこと(メンバー分)、駐車料金負担になっていて利用できません。小さな団体(資金もない)ですので活動も限られてきます。市からの支援、相談を受けるにはどうしたら良いのかも…。団体同士の交流の場、団体参加のイベントなどがあると良いなと思われまます。
2	市民活動の拠点である、事務局等の場所がかつては、公共施設にあったが、昨今は行政も財政上の制約があり、又指定管理者に施設の運営を管理の為に皆無であるが安価で借りられる様な施設の提供をお願いしたい。
3	小学校の休校、廃校が進んでいますのでこの施設を有効活用し、市民活動を活発化する。
4	活動の施設を充実してほしいと思います。例えば駐車場の確保等。

⑤団体について（アンケート回答団体）

番号	意見
1	私達は地道にボランティアを続けて来ました。17年間活動していますが、最初は、社協や市から3年ずつ、計6年は支援(金銭的)を受けましたが、永く続けると、もう支援はありません。ボランティアとは、3年ぐらいでつぶれてしまうと考えておいでのようです。その後は、自分で年会費を出し合い、企業から物品の支給等を受けて今日までやって来ました。大きなイベント等はしません。ひたすら若い親子の支援をして来ました。楽しいから・生きがいがあるから続いたのですが若いボランティアの人は、手弁当では可愛そうです。だから育ちません。私達は高齢になりました。心意気だけで行く、ボランティアは時代おくれなのでしょうね。大変虚しいです。
2	祖父母の子育て支援研究会は当初の目的を終了しました大きな勉強会やフォーラム等を5回開催しましたので15年3月末で終了します。その後は、「老人心理学」の勉強会として会を新しくして行きます。
3	会員が高齢化して会の運営が難しくなってきた。二、三年後には解散も考えている。
4	長年(20年以上)市民活動団体として、子どもたちのあそび場づくり居場所づくりにとりくみ、大変お世話になっている。2007年から教育委員会の元に行く「放課後子ども教室」(地域子ども教室)が主な活動になったため財政的にも運営的にも市民文化課さんと直接、関わるのがあまりなくなりました。ただ私たちとしては、常に自立して運営していける組織づくりは必要との認識をしていますので、今後も多様な形でご支援いただければありがたいと思っています。また、長年とりくんできたことで培われたスキルなどを私たちがもっているのだとすれば、今後とりくもうとしている方々、団体にお伝えすることでお役に立てれば幸いです。機会を与えていただければ喜んでお手伝いさせていただきます。よろしく願います。○○○○○○○○○○ ○○○○
5	総合型地域スポーツクラブに対する認識が山口県の他市に比べ低い様に感じられます。山陽小野田市では広報紙への掲載や公民館等の使用料が無料等、支援を行っている。当クラブの500余名の会員(60才、70才台がメイン)の健康増進等を行っており、これを支援することは地域住民や市にとっては大変メリットのあることと考えます。特に活動の場の提供に積極的に取り組みますよう要望いたします。
6	NPO設立10年になりますが、下関市内での●●環境問題を提供し、問題に対し、解決を図ってきました。会員の高齢化が進行し会員の減少が現在最も大きな問題である。現在、行政の調査研究、施設の維持管理を行ってきたが行政の入札による精算には、3カ月先になり資金繰りは個人の支出により行っているのが現状であり、BK等よりの職員は理解はない。
7	いつもお世話になり、ありがとうございます。今後どうぞよろしくお願いいたします。私どもの団体メンバーは主に東京の周りが多いのですが、当事者は地方にもいるはずですので、地道に受け皿として活動していこうと思います。
8	今後は、せめて月1のペースで交流会をすすめて行きたい。集合場所(活動場所)としては、活動センターは交通の便も良く利用しやすい。活動を元気にするのは、会員数・資金・リーダーの質、サポートする人達の確保が重要である。安心して続く会でありたいです。

⑥アンケートについて

番号	意見
1	質問の言葉の言いまわしが複雑?素直でないので理解に苦しむ。この質問で何を求めているのか理解に苦しむこと多々あり。
2	問23は、どの設問についても答え方に悩みました。総合的にみると矛盾している部分があると思いますが、それが真実なので仕方がないとお許し下さい。
3	活動を引きついただばかりで、十分な回答ができず、申し訳ありません。これからも、よろしくお願いいたします。